

# かわにし

めざせ 1億円産業!



人口の動き

—12月1日現在—

男	3,985 (-2)
女	4,055 (+4)
計	8,040 (+2)
世帯数	2,275 (+3)

( ) は前月比較

特集 めざせ1億円産業…2

真剣に考えよう合併について…18

ミニ特集① 大地の芸術祭が残してくれたもの…28

ミニ特集② 変わる!かわにし雪まつり…36



# めざせ1億円産業!



あと20日ほどで新年を迎えます。その新年に欠かせないものにしめ縄があります。

各地でしめ縄の生産・出荷がピークを迎えています。川西町でも多くの人たちがしめ縄づくりに関わっています。最初は、転作面積消化やちょっとした小遣い稼ぎ程度で始めたものが、今では家計の大きな収入源になるようになり、一つの産地・産業を形成する勢いにまで伸びてきています。

その動きを取材しました。

# 産地形成の パイオニア白倉



## しめ縄なくして…

正月になくてはならないものに、荒巻鮭、お飾り餅、年賀状、お年玉、羽子板、晴れ着…など、いろいろありますが、何といっても「しめ縄」がないと日本の正月は語れません。

玄関はもとより、神棚、台所、作業小屋、中には部屋ごとにかける場合もあるし、自動車や手押し車に付けている姿もよく見かけます。

年末に飾り付け、小正月（一月十五日）に外してさいの神で燃やすのがこの地域では一般的です。わずか二週間ほどの命ですが、一つひとつのしめ縄には作った人、買った人、拝んだ人それぞれの思いやこだわりが込

められていて、大切に扱われる特別な存在です。

しめ縄の形や飾り付けも、付ける場所や地域によって様々で、全国で数百種類もあるといわれています。

かつては、自分の家のものは自分で作った（あるいは近所や親戚から作ってもらった）ものですが、近年では、農家でもわら仕事をするのがほとんどなくなり、しめ縄は商店や量販店で購入するのが一般的になりました。

## 大量生産不可能

現在、しめ縄は大量消費財の一つとして流通しており、その市場は数千億円から一兆円にも達するといわれています。したがって、そこにビジネスチャンスを求める事業者や企業も多くなっています。

こうなると、大量生産→大量消費の構図になりそうですが、なぜかしめ縄は大量生産されていません。理由は、機械による製造ができないからです。

しめ縄は、わらというデリケートな材料で作られ、工程も複雑で各部の太さも異なり（普通の縄のように、一定の太さの部分がありません）、形も千差万別で様々な飾りなども付いた

め、人間の手によらなければ作れないものなのです。

## 農村とお年寄りが 主役

さて、そのしめ縄の多くは、中山間地域と呼ばれる農村で作られています。かつては、業者からの依頼で手内職程度に作られていたものが、生産組織を立ち上げたり自ら起業したりするケースも出てきて、一つの産地を形成する動きも表れてきました。

川西町でもこうした流れをとらえて、いち早く事業化に取り組んだ事例があります。

白倉しめ縄生産組合（田中武組合長）と、元町しめ縄組合（押木喜策組合長）です。前者は、しめ縄用稲の生産から商品開発、販路開拓、集荷、発送までをすべて組合で行い、「白倉のしめ縄」というブランドイメージまで定着させるまでになりました。後者は、手内職で効率が低下しがちな作業を、一か所に集まって共同で効率よく進め、また、地域内交流としても成果を上げています。地域のお年寄りたちが主役の両組合の取り組みを追いながら、しめ縄生産の現状と今後の展望について探ってみました。

## 切っ掛けは「堆肥を作れ！」

しめ縄づくりの盛期を迎える十一月中旬、川西町で最も早くしめ縄生産に取り組んだ白倉しめ縄生産組合を訪ねました。

「いやー、忙しくての」。組合長の田中武さん（88・小白倉）は、開口一番こう切り出しました。今年最初の大口出荷を控え、その準備に追われているところにおじゃましてしまったようです。それでも、取材を快く引き受けてくれました。



35年間組合を引っ張ってきた田中武さん

田中さんがしめ縄づくりに取り組み始めたのは、今から三五年ほど前のこと。そのころ、減反政策が始まり、集団転作の一つとして青刈稲に取り組むことになったのが切っ掛けになりました。

「夏に、穂が出る前の稲を刈って田にばらまいて置いたら、役場から『きちんと集めて堆肥にしなさい』という指導があったの。それで、改めて集めに行ったら、これがよく乾いていて、

「全員参加」が組織を支えています



鶴が舞い降りる姿の「つばさ」

く、数種類のしめ縄を作っていました。が、だんだん軌道に乗ってきて、「いける、と思って組合を作った」とのこと。

## 大胆に独立宣言！

そうこうしているうちに、「気運を感じて業者（中間集荷業者）が入ってきたので、注文が来るようになったんそ。それで一気に増産するようになったんだども、一〇年ぐれつきあって止めた」。理由は？ との問いに田中さんは、「単価が合わなくなつた」といいます。

「一〇年間のうちに、ほかからも注文が来るようになって、市場価格でもんがわかるようになってきた。そしたら、今までの納品していた業者の単価がとて安い事に気がついた」。そこで、交渉を重ねても進展が見られなかつたため、独立することに決めたとのこと。

「新年会に業者を招いて、『今までは、あなた方が値段を決めていました。これからは、自分たちで作ったものは、自分たちで値をつけて売ることになりました』って宣言したんそ。いやー、業者はたんまげてたつて（笑）」。

かっこよく啖呵を切つて独立したもの、これは大きなかけ

でした。何しろ、業者から委託を受けて生産していたときと違い、販路開拓から交渉、生産、出荷、精算と、全て自分たちでやらなければならなくなつたわけです。「みんな、百姓しかしたことねやんが、一から商売しようてやんだんが、骨が折れたこつとお」というように、毎日が試行錯誤の連続でした。

## いい品を作つていれば必ず売れる

しかし、へこたれずにやり抜くのが白倉魂。

稲も、コシヒカリなど普通のうるち種よりも、「実取らず」という古代米が背が高くしなやかで、青々とした色も鮮やかなことから、いち早く栽培を始めた。

そして、「とにかく、品質には気をつけたの。いい品物を作つていれば必ず売れる、という確信があつたから、まず、モノを見てもらった」と、精力的に営業活動を展開した甲斐があつて、その年は売り上げが倍増しました。今から二〇年ほど前のことです。

それから、高い品質と低価格（中間業者を介さないため、生産者にとっては適正価格）から、「白倉のしめ縄はいい」という

評判が口コミで広がっていきました。

その間、組合と取引先、そして消費者が協力し合つて独自の商品（デザイン）も開発しました。玄関用の玉飾りに独特の工夫を凝らしたもので、ちょうど鶴が翼を広げて舞い降りる姿になっていきます。「つばさ」と命名しました。

「これを玄関に飾っておけば、家に福が舞い降りる、縁起がいいてやんで、人気があらんだがね（笑）」と「白倉ブランド」の浸透に一役買っています。

また、東京ドームや原宿にある新潟館ネスパスなどで開催される物産展にも積極的に出品したり、しめ縄作りの実演を行つてPRにもつとめました。

そして、今では「黙つていても注文が来るように」になりました。

売り上げも「何百万円もの取引がご破算になつたこともあつたども、だいたい毎年一〇〇万円ずつ増えた」と順調に伸びてきて、長期不況期の現在でも、安定した運営が続いています。

現在、同組合の取引先は、北海道から九州まで一〇社近くあり、そのほか小口のものや、店舗直売、イベント対応のものもあります。その中には、東京の大手デパートや全国チェーンの

こいつを何とかモノにできねんかと思つたんが始まりそ」ということで、早速しめ縄づくりに取り組みました。しかし、最初は販路はおろか作り方も分からず指導者もないため、小千谷市の商店でしめ縄を購入して一から作り方を研究しました。

初めの五年ほどは、仲間五六人で特に組織化するでもな

特集  
めざせ1億円産業!

クラフト店、造園企業、花屋さんなども含まれています。

### 金比羅さんのしめ縄も

「最近では、神社からの注文が多くて」と、全国の神社や、文化財の保存会などからの依頼が増えたとのこと、著名なところでは、東京の明治神宮や四国の金刀比羅宮にも納めています。これらのものは、大きな特注品が多く、また、小さなものでも「数が何万本単位」とまとまるので、期限までに納めるのに苦労すること。まあ、嬉しい悲鳴ともいえるでしょう。

そのため、しめ縄の生産は、暮れの十一月・十二月はもちろんのこと、「新年には注文を取って、冬場に作り貯めおかんぞ。夏場だって、アンコ（ふくらみを作るためにしめ縄の中に入れる芯）を作ってるんだが、田

植えと稲刈りのほかは、いつでも仕事がある」と、通年の産業になっています。

### しめ縄作りは稲作りから

春からのしめ縄作りの流れは、おおむね次のようになっていきます。

- 四月 育苗（主に「実取らず」という古代米）
- 五月 田植え（含しめ縄用）
- 六月～七月 アンコ作り
- 八月 刈り取り・乾燥
- 九月 《稲刈り期》
- 十月 アンコ・しめ縄作り
- 十一月 しめ縄作り・出荷
- 十二月 生産・出荷最盛期
- 一月 商談・生産計画
- 二月～三月 しめ縄作り

しめ縄に使う稲は、加工用青



「しめ縄」とアンコ

刈り稲として、転作面積にカウントされます。

平成十五年度の転作加工用青刈り稲の作付面積は、川西町全体で六・五ヘクタールあまりです。そのうち、小白倉集落が約一・三ヘクタールと最も多く、白倉しめ縄生産組合に所属する集落の作付面積の合計は約三・三ヘクタールで、町全体の五割以上を占めています。

他の集落では、しめ縄加工に利用しない面積消化の分が多いことから、実質的には、同組合関係者で作付けする面積が、しめ縄加工用稲の大多数を占めているといえるでしょう。

### やっぱり女性が活躍

白倉しめ縄生産組合の構成員は、メインの小白倉はもちろんのこと、岩瀬、赤谷、中仙田、室島と、仙田地域全域に広がっています。現在の組合員数は、「帳面上は三五人」ということです。帳面上とは？

「正組合員は一家で一人。家族は数に入っていねやんだども、実際は手伝っているんだんが、すそ野は広やんだぜ（笑）」とのこと、夫婦や親子（あるいは孫も含めて）で協力し合って作っているのが実態のようです。実際に、しめ縄作りをしてい



しめ縄用稲の栽培

るお宅を、田中さんの紹介で訪ねました。

小白倉の田中貴代栄さん（66）は、この道一五年のベテラン。

「中学生の頃から、ぞうり作りをしてたんだんが」と、あざやかな手さばき、足さばきで二尺五寸（約七五cm）の「エビじめ」をなっています。

しめ縄は、太くなる部分にわらで作ったアンコを入れ、その周りに仕上げ用のわらを左まきに巻き付け、よりをかけながら三本をまとめていきます。先端部分は細く左縄になって、よりが戻らないように止めます。

「いいものができたときはやっぱりうれしい」という田中貴代栄さん





まずわらを3つに分けます



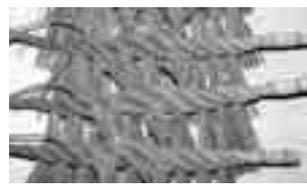
あんこを入れて左巻きに巻いていきます



よりをかけながら合わない合わせます



わらを足して先端をないます



出来あがった「エビメ」

これが基本で、曲げたり輪にしたり、稲穂や茎の部分を差し込んだりしていろいろな形、大きさに仕上げていきます。太く長く、飾りをつけないものが「ゴボーメ」で、長さ二尺（約六〇cm）から、七尺（約二一〇cm）のものまであります。主に関東方面に出荷されますが、大きいものから売れるというから、なんと不思議です。太縄に、わらの茎（さがり）や稲穂、紙四手（御幣）をつけたものが、一番ポピュラーな「鳥居メ」で、川西町周辺では、最も一般的に使われています。先端

を細く長い縄にして、海老のように折り返した「エビメ」は、主に新潟市周辺に出荷されます。縄の部分を輪にして飾りをつけた「玉メ」「つばさ」「小輪メ」は、主に玄関や乗り物用に全国的に需要があります。細縄にさがりと御幣をつけた「横メ」は、長さが三尺（約九〇cm）から一二尺（二六〇cm）と用途に応じて使い分けることができます。神社関係の依頼は、特注の太いものと、この横メが主なものになっています。田中貴代栄さんは、これらすべての種類を作っています。



独自工夫した定規を持つ高橋信雄さん

最初は、三アールの水田でわら作りから始め、小さなしめ縄を作りながらウデを磨きました。今では一二アールでわらを作りながらゴボーメや鳥居メなど、中型・大型のものを中心に作っています。「同じ形のもの

### 七つ道具は一〇種類？

赤谷の高橋信雄さん（72）は、平成三年頃からしめ縄作りを始めました。最初、三アールの水田でわら作りから始め、小さなしめ縄を作りながらウデを磨きました。今では一二アールでわらを作りながらゴボーメや鳥居メなど、中型・大型のものを中心に作っています。「同じ形のもの

でも、大きさが違えばアンコや道具など用意するものもみんな違うので」と、自分で工夫した定規を見せてくれました。棒に目盛りと数値を入れ、種類や使う部分ごとに細かく分けられています。高橋さんは、そのほか、ドライバークリップ、ノギス、二種類のハサミ、縄に稲穂やさがりを差し込む金具など、自作のものを含めて一〇種類以上の道具を使い分けています。「なるべく身体の負担を軽くしようと思っただけなんです。そっけ、特別なもんはねやんだて」といいますが、やっぱり道具がいいと、仕事もはかどるようです。こんなところにも、いろんな人たちの知恵が結集されているんですね。



最も一般的な「鳥居メ」ただし、これは大型の4尺



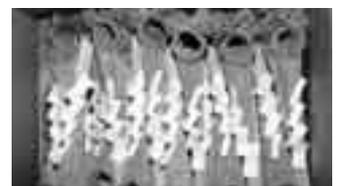
「玉メ」の基本形



「横メ」はあらゆる長さに対応できます



関東圏で人気の「ゴボーメ」



数がまとまる「小輪メ」



しめ縄作りの七つ道具中には三条の金物店に特注したもの

特集  
めざせ1億円産業!

七〇代、八〇代が中心の組合にあって、若手の部類に入るのが登坂直さん（68・赤谷）。始めて一一年になります。「会社を定年になって何もしないのも寂しいと思ってやってみたんそ。もともと、手仕事は好きなんで、結構向いてるみてだの。ひとは、『単調な仕事し



「この仕事はストレスがたまらない」という登坂直さん（右）

ててストレスがたまっておごつたる』そういうけども、そっけんことはねの（笑）」と、屈託がありません。神社などからの特注品を引き受けています。

ここは発送基地

さて、出荷の日を迎えました。集荷場所の白倉交流センター（旧白倉小学校）には、続々と段ボールに詰められたしめなわが運び込まれます。一番多いのは軽トラックですが、耕うん機や、中には背負って運んでくる人もいます。

運ばれたしめ縄は、種類ごとに分けられ、積み上げられています。作った種類と本数を、

各個人ごとに集計し、その合計と現物の計とが合うかどうか確かめます。数値を読む人、書く人、電卓で計算する人、そして実数を確認する人、それぞれが役割分担して、それも必ず複数同時進行で行います。全員のお息が合っている組織だということがよくわかります。

そして、ふだんは人気のない施設が、この時はまるで運送会社の発送基地のように活気づきます。

女性陣は、数の合わないものや、梱包の方法に問題があるもの、シールの張り忘れなどをチェックして、修正していきます。

昭和六十三年ころからしめ縄作りに携わったという小白倉の江口キクさん（73）は、「前は機織りをしていましたが、ハタの仕事が少なくなっただけしめ縄作りを始めました。毎年、作るものが変わるんで、これで覚えたということがないですね。納品日に合わせるのが大変ですが、作らんは楽しいですよ」と、しめ縄づくりの大変さと楽しみを語ってくれました。すると、一緒に作業をしていた人たちから、「こうやって、集まらんが楽しみなんそ」「ばかっぱなししらんが何よりだがね」（笑）と声がかかり、場は一気に盛り上がります。



声かけ指さし確認、必ず複数でチェック



集荷には耕うん機も大活躍しています



「みんなが同じように作るのは結構むずかしいんです」という江口キクさん（左）



電卓は3人で打って合わせます

信用が一番大事

箱詰めが済んで発送伝票を貼り付ければ、翌日の荷積み作業を待つばかりとなります。前日に集荷を済ませておくのは、「間違いがない」ようにするため。「一番大事なのが信用。おかしな品物は絶対に入れない」（田中武さん）というように、高品質の維持に最も神経を使っていることがひしひしと伝わってきます。

白倉しめ縄生産組合の取り組みは、しめ縄産業の立ち上がりから事業化を始め、産地としての地位確立をめざして突き進んできた典例です。自力でここまでの実績を築いてきたのは驚嘆に価するし、まれなことといえるでしょう。



梱包するときも品質チェック

# 生きがいに つなげる活動



「おらボランティアアそ」という押木組合長



共同作業場は終日話題が絶えません

## 語らう元町しめ縄組合

一方、白倉ほどの生産性はなくても、地域でまとまってしめ縄作りをしているところは他にもあります。元町しめ縄組合もその一つです。

元町集落開発センターで毎日しめ縄づくりをいっていると、情報が得て、行ってみました。一階入り口のカギは閉まっていますが、窓から見ても中に人がいる気配がありません。「今日は休みかな」と翌日また出かけましたが、やはりカギがかかっ

ています。「こりゃ、一杯食わされたか」と情報提供者に詰め寄ったところ、「地階でやってらんだがね」と一蹴され、三度目の正直ようやくくたどり着きました。そんなことはどうでもいい。

「ごめんください」と引き戸を開けると、奥からにぎやかな声が響いてきました。中へ入ると、総勢九人（全員元町）の皆さんが楽しそうに語らいながら、しめ縄に飾りを付けたたり、袋詰め作業などを行っています。

元町しめ縄組合は、昭和五十八年に、現組合長の押木喜策さん（75）が中心になって設立しました。

「最初は、しめ縄講習会から始めたんそ。それから、しめ縄の仕上げ加工を引き受けることになって、一人ひとりやってると効率も上がらねし、あきてしまっんだんが、みんなが集まってやる方法にしたんだがね」と、押木さんは当時をなつかしむように語ります。

## お金とは別の価値が

作業は、十月から始めて年末までと、三月・四月で、「孫の手がはなれた」人たちを中心に集まっています。

貴重な？男手の村山貞治さん



「いい居場所だぜの」という村山貞治さん

（75）が、「うちで、も〜んとして焼酎飲んでるよりいんだんがの」というと、「そうそう、ちった頭使うんだんがボケねし」（笑）、「こたつにあたって、やぐらひっこす（壊す）より、ずっと足しになるしの」「不況でも仕事に来るし」「ただ、賃金が上がらねやんが悩みの種なんそ」（爆笑）と続き、すかさず押木さんが、「おいおい、俺だつて一所懸命なんだぞ」と受けると、

会場はさらに爆笑の渦に…。実際、材料のわらは、押木さんがすべて栽培して乾燥したもの。組合に入って三年目の田畑節子さん（53）は、「こうして、



「とにかく楽しい」という田畑節子さん

みんなが集まってやっていると飽きないんですよ」と、グループで集まって作業するメリットを説明します。押木組合長も

「もともと始めたんも、明るい家庭づくり運動の一環だったし、皆さんが集まってくれることが地域の和合にもつながるんだんが、続けられるうちはやっていごと思つてらんだて」と、共同作業の意義と効果を語ります。

## 町や県の考えは…

こうした、地域独自の生産活動に対して、自治体や研究機関などは、どのような施策を考え支援をしているのでしょうか。

町の担当課に聞いてみました。

### 農林振興課

しめ縄は、転作の優良産品として以前から注目されています。町では、白倉や赤谷、岩瀬で乾燥施設を整備する際には補助事業を導入して地元負担の軽減を図っていますし、他の施設の利用にも便宜を図っています。

また、来年から始まる、新しい米政策の産地づくり対策事業として策定中の「地域水田農業ビジョン」の中にきちんと位置づけて、生産者、行政、JAなどが一体となった取り組みをしていけるようにしたいと考えています。米に代わる特産品の観

特集  
めざせ1億円産業!

買うときは、「地元産のいいものを」と消費者も心がけよう



わら細工体験も人気が高まっています

## 展望と課題

点からも、農地保全の観点からも、とても重要だと認識しています。

まちづくり推進課 しめ縄は、町の特産品です。観光パンフレットやイベントなどでPRに努めていますが、通年需要につながらないことが課題です。これからは、観光や商業振興

の視点から事業展開を図る必要があると思います。

### 進むしめ縄用の稲の研究

また、隣の松代町でも、乾燥施設整備に対する助成や、燃料費の一部補助をするなど、積極的なしめ縄生産振興策を展開しています。

こうした、財政面、制度面の支援のほか、研究機関では、しめ縄生産に適するといわれる稲の研究を進めています。

新潟県作物研究センターでは、現在、しめ縄用の稲が「実取らず」以外になく、刈り取り・乾燥が集中してしまうため、「実取らず以外のしめ縄に適した稲を紹介してほしい」という声を受けて、三重県で栽培されていた酒米の一種「伊勢錦」を栽培し研究しました。



稲姿の比較  
左からコシヒカリ、実取らず、伊勢錦

その結果、実取らずよりも一週間以上早く収穫できて背丈が長く、葉色も濃くて葉先のそりも良いという結果が出ました。白倉の田中組合長は、その新

聞報道を見て早速農業改良普及センターに種子を申し込み、今年には種子を増やして、来年から本格的栽培に取り組みことにしています。

### これからの課題 消費者も考えよう

順調に推移しているしめ縄生産のようですが、課題もあります。

一つには、後継者の問題です。現在、しめ縄生産に携わっている人たちは、ほとんどが六〇代から八〇代で、その後を継ぐ人をどう確保するかという点は、生産地共通の課題といえるでしょう。

この点を白倉の田中組合長にただしたところ、「毎年、仲間に入れてくれという人は何人かいて、会社を定年になった人が多い。問題は、その人の特性を見極めること」という意外な答えで、後継者は結構確保できているとのこと。そして、「それより、おれの後がまをなんとかしてもらわんじやなねよ」と笑います。

要は、一年を通して仕事があれば新規参入は期待できるというところのようです。実際、隣の松代町では通年雇用の事業所で、今までしめ縄はおろか縄さえなかったこともなかった若い人

が、しめ縄づくりに従事しています。

二つ目の課題は、この「通年事業」をいかに創り出していくかということです。

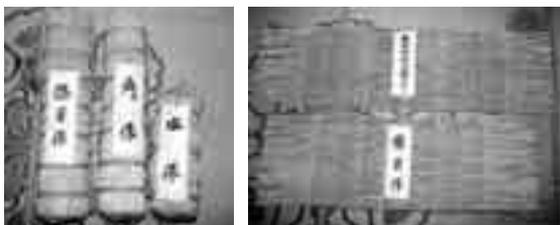
そのためには、しめ縄以外の商品を開拓していく必要があります。最近のクラフトブームからか、わらで作ったリースやタペストリーなどの人気が高まっています。こうした分野への参入も一つの選択でしょう。また、しめ縄をはじめとするわら細工の体験事業などを、観光イベントと連携して実施することも考えられます。

三つ目の課題は、価格の問題です。高品質、低価格を現在のところ貫いてはいるものの、中国、台湾、ベトナムなどの外国産の超安値にはかまいません。品質は劣っても「形だけあればいい」という人には価格だけが比較の対象になってしまいます。

しかし、しめ縄は、日本固有の信仰と文化にはぐくまれた、いわば日本人の心みたくなもの。純日本のなしめ縄が、外国産でほんとにいいのではありませんか。この課題は、私たち消費者の問題でもあるようです。

いずれにしても、しめ縄だけに頼らない、新たな事業の展開が必要になることは確かなようです。

# 相撲の土俵で勝負！



納品する俵（右）と土俵に使う状態の俵（左）



白倉産の俵が本場所の熱い戦いを演出する日も近い

## 大相撲の土俵も白倉産

新たな事業の展開では、白倉しめ縄生産組合が取り組んでいる、もう一つの事例があります。相撲の土俵の俵作りです。それも、草相撲などではなく、日本相撲協会の大相撲の土俵です。白倉のしめ縄生産の技術の高さを買われて、土俵の俵作りの依頼が来たのは、平成十二年のこと。地域振興アドバイザーの紹介で町を通して土俵の俵作りの打診があり、次いで俵作りのプロから話を聞いて、しめ縄用の青わらでも良いという了解を得て、取り組んでみることにしました。

最初の注文は、その年の九州

場所からで、各部屋の稽古土俵のためのものでした。主に作るのは「勝負俵」、「角俵」と呼ばれるもので、編み上げた状態で納めます。しめ縄と俵では、作り方が全く違い、作り手の余裕もなかったため、小白倉集落で新たに五人の編み手を発掘しました。江口定一さん（72）もその一人です。

## 最初はクレームの山

江口さんは、「田中組合長に強引に口説かれての、はちゃやってみるか、になったんだての（笑）」と俵を編むことになった切っ掛けを話します。



「昔の俵編み機を探したども見つからなかった」と新しく道具を作った江口定一さん

始めてみたものの、最初は「クレームの山」だったとのこと。細かいサイズの指示があつて、そのとおりに作ったつもりでも、いざ納品してみると、「ここが悪い」「これを直せ」という苦情が寄せられたといいます。

「同じものを納めても、ある部屋では文句が来て、ある部屋では最高だ、といわれる。どうせばいやんだかわからなくて困ったの」という状態を抜け出すために、関係者で地方巡業を見学に行きました。見学といっても、相撲そのものではなく、土俵作りをじっくり見て、土俵の作り手である呼び出しさんと食事をとるに交流を持ちました。

「それからは、なぜかクレームが来なくなったの（笑）」と首尾は上々だったようです。

## 本場所の土俵で使われる日も近い？

現在、大相撲の部屋は五二あり、白倉の俵は、時津風部屋、春日野部屋、二子山部屋、出羽海部屋など、場所ごとに納めるところが変動しますが、毎場所二二三四部屋分が納められています。

「われらは黄金色でなくちゃ」というこだわりもまだ根強いので、「コシヒカリのわらで作ったものも送ったども、ポロポロで使い物にならなかった」とのこと、やはり、穂が出るとわらの質も低下するようです。

青わらは最初は「遠くで見るとビニールに見える」と敬遠されたようですが、実際に使って



江口さん（左）と田中組合長（右）の息もぴったり



巡業先で俵作りを見学する田中組合長ほか

みるとしなやかで丈夫なことがわかって、次第に好評を博していききました。まだ、本場所の土俵では白倉産の俵は使われていませんが、相撲界に確実に浸透していることから、実現は間もないことと思われまふ。ひよっとしたら、新春の土俵からそれが見られるかもしれませんね。

## これからも伸びる

俵は、米俵を作るのと要領は全く同じで、わらを置くケタとひもを巻くコモヅチを使って編み上げていきます。出来上がっ

特集  
**めざせ1億円産業!**

# 町で一つに

たものは、二四枚一組で二五箱納めます。トータルでは、年六場所の本場所と巡業、そのほか伊勢神宮や靖国神社の奉納相撲なども含めると、年間約六、〇〇枚納めています。

そして、「来年は韓国興業も二回予定されており、土俵はこれからも伸びる」と田中さんは見えています。

## めざせ1億円産業!

白倉しめ縄生産組合を先頭に、しめ縄づくりとそれに関連する事業への取り組みは、地域の特産品形成に大きな足跡を重ねてきました。また、担い手である、高齢者同士のふれあいや生きがい作りにも効果を上げています。そして高齢社会を迎えた今、それはさらに大きくステップアップする可能性を秘めています。



います。

しかし、産地としての地位と実力を高めるためには、一つの組合や集落で対応しきれぬものではありません。全町的な事業展開が必要になってきます。

そのあたりを白倉の田中さんは、「白倉も含めて、方々にくつか散らばっている団体を統合して、町で一つにまとまってやれないか」ということを常々考えている」と、組織や事業の統合への期待をにじませています。そうすれば、「一億円産業にはすぐになる。だって、おらたちは、注文を断ってらんだんが」と確信を持って言います。

産地として伸びるかどうか、地域のつながりをより深めることができるかどうかのポイントには、「いつ、誰が始めるか」にかかっているようです。

### しめ縄の基礎知識

#### しめ縄の由来

天の岩戸に隠れた天照大神を、岩を引き開けて連れ出し、大神のまわり「しりくめ縄」を引きめぐらした、という神話がしめ縄のはじめだといわれています。

しめ縄は、「しりくめ縄」を略したものといわれ、「注連縄」「標縄」とも書き、一名を「しめ飾り」ともいいます。

神前や神事を行う場所にこれを張るときは清浄な区域であることを示し、新年に戸口にこれを張るときには、わざわいをもたらす神や不浄なものが入らないように、との意味がこめられています。



赤谷の大ケヤキに張られたしめ縄

#### しめ縄の飾り方

しめ飾りの仕方には、しめ縄、玉飾り、輪飾りなどがあります。

「しめ縄」は、新しいなわを左縄にない、四手（しで）のほか裏白、ゆずり葉、橙などをくくりつけ、ないはじめの太い方を向かって右にして飾ります。また、その形から、前垂れしめ縄（鳥居メ、エビメ）、ごぼししめ縄、大根しめ縄などの種類があります。

「玉飾り」は、地方によって異なりますが、わらを丸くしたものに、さらにわらを長くたらし、裏白、四手、ゆずり葉、昆布、橙などの飾

りを付けます。装飾の多い玉飾りは、一般に玄関などに飾られます。

「輪飾り」は、わらの先を輪の形に結び、下をそろえて長くたらし、それに四手を付けたもので、門松や門に飾ったり、家の中では、水道や床の間などに飾るのがならわしになっています。今では、わざわいをさけるために自動車、オートバイや自転車などにも飾られるようになりました。



いろいろなしめ縄

#### しめ縄の取扱

しめ縄は、門松と同じように正月の神を迎えるための飾り付けですの一夜飾りをさせて、十二月二十八日まで飾り、松の内がすぎれば取り払って、さいの神（どんど焼き）で燃やします。地方によって様々ですが、だいたい七日、十一日、十五日（当地方は十五日）のいずれかに取り払うのが一般的のようです。



しめ縄を燃やす「さいの神」

### 土俵の基礎知識

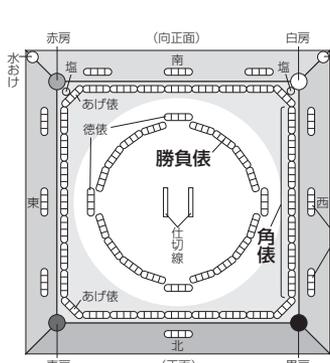
#### 土俵の俵は六六俵

正式の土俵で使用する俵の数は全部で六六俵です。

土俵の円周となる勝負俵が一六

俵、東西南北の徳俵が四俵、周囲を囲む角俵が二八俵、四角のあげ俵が四俵、土俵に上がる上がり段（踏み俵）が一〇俵、少し小さめの水桶俵が四俵で構成されています。

昔は米俵を三つにわけて細長い俵を作っていました。わらで作った米俵を使わなくなったからは、土俵用専用の俵を作るようになりました。



#### 徳俵が飛び出ているワケ

土俵上の俵の高さは、六分を土の中に、四分（約五割）を土の上に出します。東西南北にある四つの徳俵は、土俵の円の直径より俵ひとつ分だけ外側に飛び出しています。これは、相撲が屋外で行われていた時代に、土俵にたまった雨水を掃き出すために俵をひとつ分ずらしていた名残です。

形成不利の力士が俵ひとつ分だけ得をすることから、徳俵と呼ばれています。



徳俵

# みんなので道路除雪に協力しましょう

今年も降雪時期となりました。いよいよ道路除雪も本番を迎えようとしています。

道路除雪は、わたしたちの生活のために、なくてはならないものです。しかし、これは特殊機械を使って行う危険な作業でもあり、また、障害物があると作業が滞ってしまいます。作業がスムーズに進み快適な雪国の生活を送るためには、そこに住むわたしたちひとり一人がそのことをよく理解し、協力することが大切です。

では、実際どんなことに気をつけたらよいのでしょうか。

今年も  
もうすぐ来ます  
冬将軍!



**Q** 除雪はいつ、どういう形ですの？

**A** 一〇センチから除雪します

除雪の出動の基準としては、道路に積もった雪が一〇センチメートル以上で出動します。朝は七時までに、夕方は五時までに除雪作業が完了することとなっていますが、降雪量が多い場合は規定の時間に作業が終了しないこともあります。その際は皆様のご理解とご協力をいただきたいと思えます。

**Q** 注意することは？

**A** 路上駐車はしないで

路上駐車等の障害物があると、その場所の作業ができなくなり、能率が落ちてしまいますし、交通の支障となります。路上駐車はしないでください。交通事故の原因になり大変危険ですので、屋根の雪



は路上に捨てないでください。やむをえず道路に雪を出した場合には、個々の責任において速やかに排雪してください。また、流雪溝への投雪作業は路線ごとに計画的に行ってください。その際、雪が詰まり水が流雪溝から溢れ出ないようにご注意くださいをお願いします。また、事故の原因となりますので、投雪作業が終わりましたら投雪口（ふた）を必ず閉めてください。

**Q** 雪が降っているのに消雪パイプが止まっているのは？

**A** 地下水を守るためです

これは、節水・節電のため、一定の時間散水を止めているからです。消雪パイプは、一日のうち午後二時～三時、午後四時～五時に散水が休止します。限りある資源を守るためですので、ご理解をお願いいたします。

**Q** ほかに？

**A** 雪捨て場確保をお願いします

雪捨て場については、地権者のご協力をお願いいたします。雪捨て場が確保できない路線については、最悪の場合除雪作業

ができなくなる恐れがあります。また、ロータリ除雪車等で投雪してはいけない所には、赤布等でハッキリと目印を設置してくださいようお願いいたします。

その他のことも含め、ポイントは次のようになります。

- ① 除雪作業中は、機械に絶対に近寄らない。
- ② 道路の上には駐車しない。
- ③ 屋根の雪は路上に捨てない。
- ④ 出入り口は、各戸で除雪する。
- ⑤ 消火栓など重要なものは目印をつける。
- ⑥ 雪の降らない時は消雪パイプの運転を止める。
- ⑦ 雪捨て場確保に協力する。
- ⑧ 投雪してはいけない所には赤布等で目印をつける。

冬の道路確保は、雪国に住むわたしたち全員の責任で行うものです。みんなで協力し合って冬を乗り切りましょう！

■ 除雪についての連絡や相談

十日町土木事務所

(057-5203)

役場建設課

(068-3111)

(068-4953直通)

11月9日執行

# 衆議院議員総選挙 川西町の結果

(国民審査は省略)

十一月九日に執行された第四十三回衆議院議員総選挙の開票作業は、即日、午後九時から総合センターで行われました。この選挙は、小選挙区選挙、比例代表選挙、最高裁判所裁判官国民審査も併せて実施されました。今回の小選挙区選挙の投票率は七八、五五%で、前回(平成十二年六月二十五日執行)より七、六二%下がりました。町の開票結果は、左のとおりです。  
(国民審査は省略)

## ●投票状況

区 分	衆議院小選挙区 選出議員選挙	衆議院比例代表 選出議員選挙
投票当日の 最終有権者数	6,507人	6,515人
投票者数	5,111人	5,111人
投票率	78.55%	78.45%

## ●得票状況(届け出順)

### ○衆議院小選挙区選出議員選挙

氏 名	得 票 数
つつい 信 隆	1,712票
あ べ 正 義	97票
風 間 直 樹	1,412票
たかとり 修一	1,810票
(無効投票)	80票

### ○衆議院比例代表選出議員選挙

政党等の名称	得 票 数
社会民主党	423票
自由民主党	2,191票
公 明 党	457票
日本共産党	193票
民 主 党	1,575票
(無効投票)	36票



職員総動員で行われた開票作業

## ホームアップ 役場 No.31

### 秘密兵器活躍!?



オヤ? ポールをいくつも組み合わせさせて何やってんの。まさかはしご段作ってるんじゃないよね。  
これは、大雨で崩壊した道路の実測をしているところ。崩れたところの縦、横、高さを、ポールの組み合わせで原

答えはもう一つの写真のクリップ。このクリップはポールの直径に合う巨大なもので、これで縦のポールを挟んで横のポールをクリップの取っ手の部分に乗せて落ちないようにしています。事務用品だとばかり思っていたクリ

寸表示しているところなんです。え、そんなこといわれなくても分かる? じゃあ、次の問題。このポールとポールの交点はどうやって止めているのでしょうか。ひもは使っていないですよ。

アップも、意外な使い道があるんですね。手際よく? 組み立てた職員。「うーん、この道〇年の職人技、これこそ大地の芸術だ!」  
...まだまだ修行が足りないようです。



# 十日町地域高速通信体系整備構想

2

先月号から三回に分けて、十日町地域広域行政圏で取り組んでいる「十日町地域高速通信体系整備構想」についてお知らせしています。

【※】印は、用語解説を参照してください。

## ○検討経緯と情報化整備方針

平成十四年十二月に六市町村、七商工団体、二農協を集めて高速通信体系検討会議が開催され、全会一致で、一刻も早く各家庭までのネットワーク整備の推進に取り組むことが決定されました。

そこで、平成十六年度に地域イントラネット基盤施設整備事業を実施し、地域情報化※1の拠点となる公共機関ネットワークを構築し、そして「e-Japan構想」の最終年度である平成十七年度までを目標に各公共機関のネットワークを各家庭まで延伸する形で全地域・全家庭までの情報化を図ることとしました。

## ○六市町村・公共施設のネットワーク整備

(地域イントラネット基盤施設整備事業)

地域イントラネット基盤施設整備では、まず各六市町村の庁舎を1Gbps※2の速さで基幹線をループ状に結びます。これは、例えば1箇所が雪崩等で断線しても反対側からネットワークがつながり業務に支障をきたさないための設計です。

そして各市町村役場から圏域内の全ての小中学校、公民館、保育所や、福祉施設・観光施設などを結びます。

## ○各家庭までのネットワーク整備

(新世代CATV※3施設整備事業)

これは、地域イントラネット基盤施設整備事業で構築したネットワークを、各家庭までCATV回線で繋げる事業です。

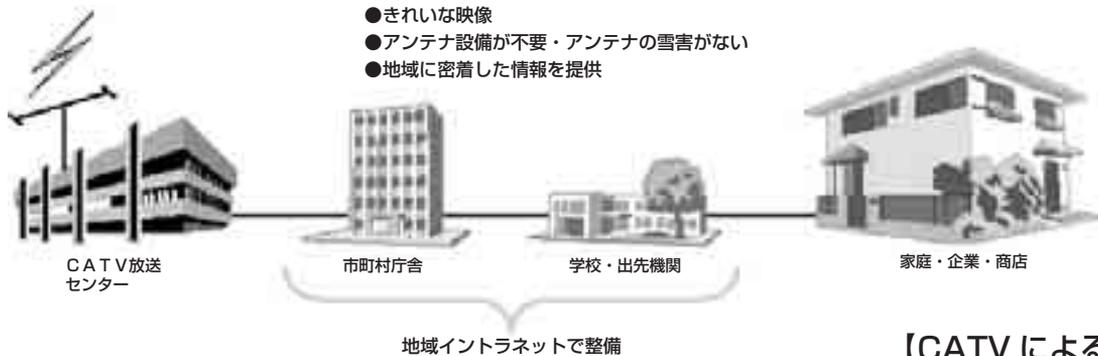
CATVを繋げることにより、テレビのデジタル地上波放送にも対応できることはもちろん、インターネットへの接続、地域に密着した様々な情報の取得、アンテナ設備が不要で雪害による被害を受ける心配がないことなど、多くのメリットがあります。

## ○十日町地域ネットワークビジョン

整備したネットワークは道具に過ぎません。せっかく巨額な投資をしてネットワークを作っても使わなければ意味がありません。このネットワークをどのように活用するのか、官民あげて検討しているのが「十日町地域ネットワークビジョン」です。

この中では各家庭までネットワークを繋げたときのサービスや保守運営についても具体的に決める計画になっています。

(つづく)



## 【CATVによるネットワーク】

### 《用語解説》

※1 地域情報化  
地域のネットワークを構築することで、情報流通の活発化や情報発信能力の増大を目指すなど、高度情報化社会に対応した地域づくりを行うこと。

### ※2 Gbps

ギガ・ビー・エスと読む。bpsとは通信回線などのデータ転送速度の単位。ビット毎秒。1bpsは一秒間に1ビットのデータを転送できることを表す。Gbpsはbpsの十億倍の単位にあたる。この値が大きくなるほど通信速度が速い。単に「ギガ・ビット」と称することもある。

### ※3 CATV

Community Antenna Televisionの略で、日本語では「ケーブルテレビ」の略。山間部など、地上波テレビ放送の電波が届きにくい地域でもテレビの視聴を可能にするという目的で開発されたテレビの有線放送サービス。近年では多チャンネルや電話サービス、高速インターネット接続をサービスに、都市部や難視聴中山間部などでも加入者を増やしている。

### ① 平和学習（二日目）

原爆被災地の長崎の町を、現地のボランティアガイドさんの案内でまわり、その後、谷口稜（「ナガサキの郵便配達」の主人公で、被爆体験の語り部として活動されている方です。二学年では、この「ナガサキ」



十五年は草木が生えないと言われた所なのに、既に今はたくさんきれいな緑に覆われ自然に囲まれていたので本当に感動しました。自然の力と人間の力はすごいものだと思います」

「谷口さんのお話はすごくリアルで、途中で聞いているのが怖くなるほどでした。よく戦争体

一言に、生徒たちは一層心を打たれたようでした。忘れられない体験となったことでしょう。

### ② 異国情緒・長崎文化

初日にグラバー園、二日目午後市内を班別研修、三日目にハウステンボスへ行きました。

#### 《生徒の感想》

去る10月14日（火）～17日（金）に、川西高校2学年は修学旅行に行ってきました。九州は長崎を中心に、平和学習と異国情緒あふれる文化を体験してきました。今回は、この旅行について、生徒の感想を交えながら振り返ってみたいと思います。

「グラバー園では、長崎の町が見渡せる景色を見て、感動してきました」

「ハートの石も必死で探し、二つとも見つけれられてうれしかった」

「班別研修で長崎の各地を回った。行く先々で、近道を教えてくれたり、『どこから来たの?』と声をかけてくれる多くの人たちに会い、長崎の人の温かさを感じた。三日目は、ハウステンボスへ。風車があったり、花畑があったりと異国情緒あふれんばかりだった。広すぎて回りきれなかったのがショックだった。みんなで似顔絵を描いてもらったり、チーズケーキを買ったりと楽しかった」。

### ③ その他

この旅行ではいろいろなエピソードもありました。

#### 《生徒の感想》

「飛行機。いつも下で『おお〜!』と見ているだけで、乗ったことは一度もなくドキドキしながら乗っていました。怖かった」

「有田焼陶芸の絵付けも体験した。お皿だったからいい描けた。できあがりを楽しみで仕方がない」

「飛行機を降り、バスに乗って地元へと向かいました。都心から山や田んぼが見えるところまで来るとやっと現実を見たような気がしました」

「バスガイドさんはみんなきれいな人だった。歌もうまかった。けど、シャレは寒かった」

「班別で行動。グラバー園まで路面電車を使って行きました。とても感動的でした。どこまで行っても百円っていうのにも感激しました」

「この修学旅行で思ったことは、長崎の人たちがとても親切だったということ。何も聞いていないのに私たちが迷っていたら声を掛けてくれたり、本当にうれしかった」。

生徒たちにとって一生忘れることのない、有意義な修学旅行になったと思います。

## ◆ 議会報告 ◆

十一月二十八日、第五回川西町議会臨時会が開かれました。

この日は、諸般の報告の後、「平成十五年度川西町一般会計補正予算（専決第五号）」が承認され、「川西町特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例」及び「川西町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」が、原案のとおり可決されました。



議案採決の様子

なお、議会の模様は、十二月定例会の分も含めて、来年一月二十日発行の「議会だより」に詳しく紹介されますので、ご覧ください。

の話を事前学習として勉強し、旅行に臨みました」の講話を聞きました。

#### 《生徒の感想》

「二日目は平和公園に行きました。平和公園ではガイドさんのお話を聞きながら歩いて回りました。原爆の被害を受けて七

験者の方々が『地獄のような情景だった』と言っていたことが、話だけでも伝わるような気がしました。その後も原爆資料館を見て回ったのですが、もう二度とこんなことになってしまっはいけないなと思いました」。

この講話の谷口氏の「私の話を遺言だと思ってください」の

11/11~11/17  
税を知る習慣



税はこの子たちが成長するためにも必要です

# 税金を納めてみんなで豊かな暮らし

十日町税務署長賞 優秀賞

川西中学校三年 蔵品 まさみ

毎年十一月十一日から十七日

までの期間は、「税を知る週間」です。

本年度も租税教育の一環として、次代を担う中学生に税に対して親しみを持ってもらい、併せて租税の役割・使われ方について正しい知識と理解を深めてもらおうと税に関する作文や標語を募集しました。

この機会に、税について考えてみてはいかがでしょう。作文と標語の入選作品を紹介します。

- ◎十日町税務署長賞 優秀賞
    - 作文の部
      - ◎新潟県納税貯蓄組合総連合会 優秀賞
        - ◎十日町税務署長賞
          - 「納税の権利」を考える
            - 三年 小林友利恵
    - ◎入選
      - 川西町租税教育推進協議会長賞
        - ◎入選
          - 「税金について」
            - 三年 丸山 健吾
  - ◎佳作
    - 三年 柳 良子、蔵品 建
    - 平野亜由実、高橋あずさ
    - 星名 千恵、登坂 綾乃
    - 蔵品まさみ
- ◎標語の部
  - ◎十日町税務署長賞 優秀賞
    - 「税金を納めてみんなで豊かな暮らし」
      - 三年 蔵品 まさみ

◎十日町税務署長賞 佳作  
「税金で みんなが住みよい町づくり」  
二年 押木 優花

川西町租税教育推進協議会長賞  
◎入選  
「毎日の暮らしに生きる消費税」  
三年 平野 亜由実

「税金で 住みよいまちとよい環境」  
三年 小林 加奈

「税金で 笑顔あふれる町づくり」  
二年 蔵品あゆみ

「人のため 自分のために納税を」  
二年 保坂 拓実

「税金で 増やそう笑顔この町に」  
二年 蔵品 京子

「税金は 町を支えるエネルギー」  
二年 片桐 涼子

◎佳作  
三年 小幡 裕美、星名 研吾

二年 丸山 愛美

二年 尾身 李奈、藤巻 友佳

戸田 彩加、茂野 愛美

田口 裕也、清水亜沙美

## 「納税の権利」を考える

川西中学校三年 小林友利恵



皆さんは、税金を納めることについてどう思いますか。高いとか、重い負担だなどというイメージを持っている人はいますか。それらはきつと、させられていないという意識があるからではないでしょうか。日本国憲法の三大義務にもあげられる納税の義務は、現代の社会には必要なものであり、常識的なものだと思います。しかし、多くの人達が政府が取りたてるものだから、仕方のない負担だということか、消極的な考え方や受け取り方をしているのではないかと思います。私は、もつと積極的に、この国に生きるんだという前向きな気持ちで税を納めることが大切だと思います。その気が持ち次第で随分と気分が変わってくるように思います。なんとなくとかいやいやながらであれば、それなりの気分ですが、このお金が社会福祉のために使われているんだなどと思えば、ちよつといいことをしたように、明るい気持ちになるでしょう。

私はまだ、実際税金というものに深く関わりがないけれど、一人ひとりが、税金の役割や、仕組みについてよく知ることが大切だと思います。そのために、もつともつと学校の授業や、様々な場面で税について知る機会を増やせばいいと思います。そうすれば、前に書いたような、前向きに意識する人も増えてくると思います。将来、大人になったら、私も、税金を納めることができそうです。この税金はこんなことに使っていくれたらなあなどと思いつながら、明るい気持ちでいられたらいいと思っています。世の中の人が皆、このように考えることができたら、日本中は税金によって、さらに幸せあふれる国になることでしょう。

## 乙番地の祖師村

大字上野には、甲と乙に区別した番地があるし、昭和三十年代の基盤整備を行ったところには、甲・乙のない番地が新しく付けられている。

甲番地は千手地との境から順に付けられ、現在の高橋工務店が上野甲一番地であるが、乙番地は上野地内の中をあらちちらと飛び飛びに入り混じっている。

乙符号の付いたところが、古くから続いてきた祖師村の土地で、明治十六年四月に上野村と合併して大字上野となり、甲・乙符号を付けることで区別された。

上野街区の中心部に祖師と呼ばれる家（清水氏）があり、節黒城主の上野氏につながる縁があったと伝えられ、浄土真宗西永寺の創設に直接の関係があったという。『西永寺そのあゆみと可能性』に詳述）

しかし、とくにまとまった形でムラづくりすることがなく、個々に土地を求めて独自の開発を進めてきたので、その所有地は上野村地内に点在するに止まっていた。

上野氏の時代にあった興徳寺の寺領は、その後一括して祖師村の持ち分になっていることから、城主と祖師家には何かしら



祖師家（手前）と上野の中心部

数五六人、馬九匹とあり、祖師村についての庄屋が任命されていた。

百年を過ぎた文化元年（一八〇四）の白川風土記によれば、「上野村ト家並ミ入り混リ」とあり、このころは上野村庄屋が兼ねて取り締まることが例になつており、高札も上野村にあり、鎮守も一緒であった。

明治年代に持ち越した石高は約八六石で、天和検地以後およそ一八〇年間の耕地増加は、まことに微々たるものである。

上野氏が米沢へ移ったあと、

## おらむらの話

（第三十二回）

上野 上村政基

の関係があったようである。

正保二年（一六四五）絵図では祖師村六七石余とあり、天和三年（一六八三）検地帳では総高八七石余で、屋敷が九件認められている。しかし、同年に作成されたという村絵図では、

「そし村」と肩書きした家が元町集落の中に二軒あり、上野集落には五軒が確認される。いづれも、上野・元町の家並みに混じっており、ムラの形にはまともっていない。

元禄七年（一六九四）改村鑑では、高八五石余、家七軒、人

に例が多い。

代は古代の面積区分であり、稲一束を收穫する面積を一代と呼んだという。だが、そのように難しく考えずに、湧き水などの溜まりやすいところの呼び名であると理解すればよいであろう。苗代の名称は、苗を育てる水を溜めた一区切りのことである。

最初は、元町集落の北にある池ノ平地名に住んでいたが、山番を頼まれて山間に入り、田代の耕地を開いてムラづくりしたと元町の古老が語り、大正末年までは、池ノ平に昔の井戸跡が二か所残っていたという。

田代のムラに伝えられる話は、節黒城に仕えていた先祖が、殿様が米沢へ移っていったあと、もここへ残り、ムラを作ったのだと語っていた。

伝承の是非は別にして、田代の名が独自に出てくるのは貞享五年（一六八八）の村明細で（山谷の酒井家文書）、「田代見出新田については、十七年前から暫定措置として米七斗を上納してきた」という内容の記載がある。十七年前といえど寛文十二年に当たるので、田代ムラの開発は、それ以前の万治・寛文年間（一六五三～一六七二）のことになる。

天和三年（一六八三）の検地では、田代新田高三四石余とあ

り、家二軒、人数一二人とあるが、すでに、非公式ではあるけれども分家が二軒あったように思える。

戸数は一〇軒を数えたこともあるが、昔から田代八軒といわれ、およそ三〇〇年におよぶ歴史を経たあと、昭和四十二年十二月に閉村式を行って幕を閉じた。

## 星名新田の百年

上野の大地主星名家に生まれた保右衛門（明治に入って保と改名）が、村の入会山を買って入植したのが星名新田で、地名を採ってキクゾの旦那様と呼ばれていた。

上野から三キロ余も山入りの沢を開き、万延元年（一八六〇）の検地で高二五石余が認められ、星名新田を村名として独立した。

開発者の保右衛門は、幼いうちに亡くなった子を忘れがたく、身寄りのない子を預かって育て、その成長に合わせ住居・家族を与えて独立させ、ムラ立ての基にしようと志していた。

明治初年には、戸数二軒とあり、大正年間に入つてようやく五軒六軒とはなったが、立地条件が悪くて自給自足の基本を築くことが得られぬまま、昭和四十八年に歴史を閉じた。

# 真剣に考えよう 合併について

26



来年1月又は2月に設立予定の「合併法定協議会」への参加について、住民の皆様からご理解をいただくために開催した「市町村合併住民懇談会」と2200人の方々からご協力をいただいた「市町村合併に関するアンケート調査」が終了しました。

住民の皆様からの意見を踏まえ、川西町が進むべき方向を慎重に判断したいと思います。

**住民懇談会が終了！**

十月二十七日から十一月二十八日までの約一か月をかけて、町内十八会場で開催した市町村合併住民懇談会が終了しました。

## 住民懇談会通信 第二編

今月号では、十月二十九日から十一月五日までの四会場での意見交換の様子を掲載します。なお、それぞれの会場で同じ質問が出されたものは、先に開催した会場分に掲載し、後の会場のものは割愛させていただきます。

どの会場でも、活発な意見交換が行われ、貴重なご意見やお考えを伺うことができました。ご参加されたみなさまにあらためてお礼を申し上げます。なお、参加状況は下表をご覧ください。

### ■木落構造改善センター(橘)

質問(女性) 財政シミュレーションの中で、住民一人当たりの減税や、負担がどの程度発生するか掲載してほしかったです。計画が抽象的で将来の姿が見えてきません。

### 住民投票への考えは？

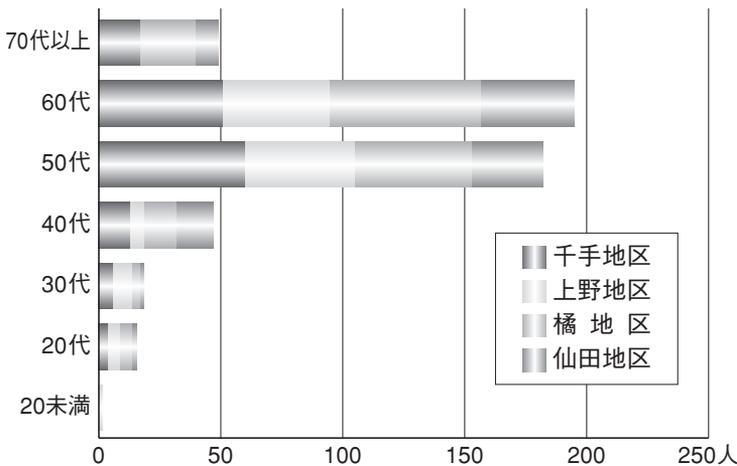
住民アンケートは、なぜ全員対象ではないのですか。全世帯にどうして平等に聞いてくれないのですか。そして一番してほしいのは住民投票です。

議員数が減って、住民の声が行政に届くか心配です。また、保健師も減るような話も聞いています。

担当課長・係長 財政シミュレーションは、細かな数字の積み上げではなく、大きな予算を機械的に仮置きした将来推計で

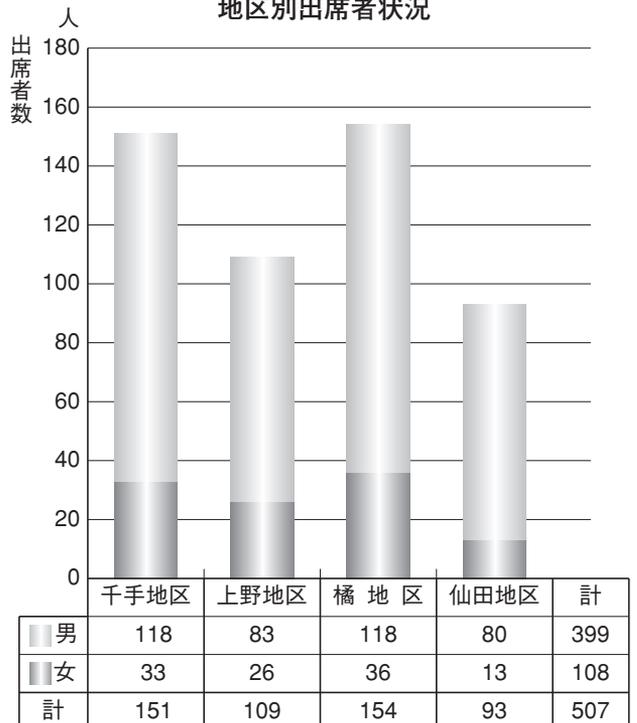
### 住民懇談会参加状況

地区別・年代別出席者状況



	20未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
千手地区	0	4	6	13	60	51	17	151
上野地区	1	5	8	6	45	44	0	109
橘地区	0	5	3	13	48	62	23	154
仙田地区	0	1	1	15	29	38	9	93
計	1	15	18	47	182	195	49	507

地区別出席者状況



# 真剣に考えよう 合併について



10 / 29 木落構造改善センター

す。したがって、住民一人当たりの負担がどうなるかは検討しておりません。

**押木助役** 議員が減少すること  
で声が届きにくくなることへの不安に応えるため、新市建設計画では、周辺対策として、旧市町村単位で「地域審議会」を設置することとしており、新市長の諮問などに応じて、答申する組織を考えています。

**田口町長** 住民投票に対しては、私どもが真剣に討議した内容が正しく伝わっているかという心配もあります。また、そのときの情勢で、合併問題について十分な検討をされないまま、投票してしまう心配もあり、本来の結果が得にくいと考えています。今のところ、住民投票は考えないで取り組んでいます。住民の賛成・反対の声が拮抗していることが分かってくれれば、最終的には住民投票も考えることになると思います。

全員アンケートや住民投票を実施した場合は、かえって混乱を招く場合もあります。

保健師数の問題は、増やしていく方向で検討しています。

**質問(女性)** 全員のアンケートや住民投票は、住民の意見が集約でき、数字がはっきり出るので、スッキリするのではないのでしょうか。

## 合併問題の根幹を理解しているか

**田口町長** 住民投票の実施は、最も簡単な方法ですが、合併問題の根幹を理解されて意思表示していただけるか心配です。

**質問(男性)** 現在、国が示している施策は、政権が交代したら変わるのではないですか。

**田口町長** 今の国の方針からすると、平成十七年三月までに合併した方が有利な支援策があります。もし、合併するのであれば、それまでに結論を出した方が有利です。川西町が財政上の問題がなければ、合併の機運が高まるのを待って、合併するのが本来であると思いますが、現状を考えると、有利な支援を活用できるうちに、合併した方が良いと思います。

**質問(男性)** 高度情報化というのは、どのようなことをどんな方法で取り組むのか、具体的に教えてほしいです。

**担当** 六市町村の役場や公共施設を光ファイバーで結ぶ計画があります。各公共施設をキーポイントにして、ケーブルテレビや色々な放送局の番組を見られたい、行政情報などがテレビ画面で確認できるようにになります。

## 新市の名称は？

**質問(男性)** 新市になっても、各種名称に「十日町」という呼称が多くあります。個人的には「十日町」という名称は使わないでほしいと思いますが、どの程度まで検討していますか。



調整結果について説明する押木助役

**田口町長** 十月二十六日で新市の名称案募集を締め切りました。二、七〇〇件を超える応募があり、名称の種類は九五八種類あり、この中には「十日町市」もありました。

新市の名称案を決めるために、小委員会があり、私も入っています。そこでは、応募数によって決めることはしないという申し合わせのうえ、三から五案程度に絞って、合併任意協議会に報告します。最終的には合

併法定協議会で決定されます。個人的には、新しい市が誕生するのであれば、新しい名称の方が良いと思います。

**質問(男性)** 新市の名称案を公募したということは、合併が決まっていることになりませんか。

公募は合併が決まってからで、良かったのではないですか。

**田口町長** もし合併するとして、どういう名称が良いかという事です。名称を決めることは大切なことだと思いますし、時間も費やしますので、今の段階から検討を始めました。

**質問(男性)** 前回のアンケートの回収率の状況はどうでしたか。また、今回のアンケートについて、対象者をもう少し増やして、住民の声を聞いた方が良いと思います。

**田口町長** 前回は七〇〇人をお願いし、回収率は三九・一％でした。今回は、少なくとも六割近い回収率であってほしいと思います。

**質問(男性)** アンケート結果が基本になるなら、せめて選挙人名簿の半分くらいを対象にしてほしいと思いますが、どうでしょうか。

**田口町長** 対象者については、前回の約三倍にあたる二、二〇〇人をお願いする予定です。



11 / 4 山野田公民館



10 / 31 仙田コミュニティセンター

今回は、有権者数の約三分の一ですが、一般的にアンケート調査は、対象者の約一割位を取ると、ある程度の傾向が分かると言われていています。

今回の二、二〇〇人は、十八歳以上の住民の中から、年齢、地域、男女別の人口構成比率に応じて、コンピュータで無作為に抽出し、お考えを伺いたいと考えています。

**質問（女性）** 回収率が低いのであれば、もっと人数を増やして住民の声を聞く必要があると思います。

**田口町長** 今回のアンケート調査は、現在の背景や将来の方向性を踏まえて、回答に〇印を付けていただきます。回収率が低い理由のひとつには、流れにお任せしたいという方もいるからだと思われれます。ですから、昨年は七〇〇人でしたが、本年は三倍の二、二〇〇人に増やしています。

また、広く住民の意見を伺うため、はがきを町内全世帯へ配布していますので、ぜひ利用していただきたいと思っています。

**どうして津南町は離れたの？**

**質問（男性）** 津南町はどういう経緯で離れたったのですか。

**田口町長** 財政力の指数は、川

西町より少し良い状況ですが、根本的なことは、十日町市から離れているというのが一番だと思えます。それに山間地を多く抱えていることも心配だったようです。最初の合併懇談会の時に、町側が合併をしない方が良くいというような説明をしたことも要因だったのではないのでしょうか。

**仙田コミュニティセンター（仙田）**

**質問（男性）** 人件費削減の説明で、特別職一名減は、助役を置かないということですか。

**田口町長** 助役や収入役など特定をしていません。

**意見（男性）** 資料には合併すると新市の議員数が三〇人以内とありますが、その場合は川西町が約四人で、十日町市が一人となり、三分の二が十日町市、四町村で三分の一になります。大切なことは、四人のしつかりとした方を選ぶという意識改革が必要になると思います。住民はよほど真剣に考えなければならぬと思います。

川西町の世帯では、一世帯あたり三万円くらいは毎月十日町市で使っていると思います。合併する場合は恩を着せて合併してもいいのではと思います。

合併しなくても、十日町市へ

お金は流れているので、合併をせざるを得ない状況だと思えます。

**周辺対策を優先すべし**

**田口町長** 今までの交付税を保障しながら、基本的には各市町村が使って行きます。スムーズな合併をするためには、母都市が自分のところに水を引くのではなく、周辺地域の対策を先に進めて行くべきだと思います。私たちもその考えで取り組んでいます。十日町市が財政的に苦しいということで、周辺地域に目を配れないのが実情のようです。

そうなるってはないということ、川西町は幹事会や専門部会で声を出しています。これから最後の詰めに入りますので、このことを忘れないで検討して行かなければならないと思います。

**質問（男性）** 調

整がつかないで、先送りになっているものが多いようですが、最終的には川西町の住民



保育園の統合は大きな地域課題です

も、今よりも住民負担が多くなることを覚悟して合併しなければならぬと思います。

**田口町長** サービスによって色々なものがあり、すぐに一緒にできるもの、保育料の軽減措置のように五年ぐらい先を見ながら調整して行くものがあります。

**質問（男性）** 合併した場合でも財政的には苦しいと思うので、学校や保育園などが減らされないか心配ですが、検討しましたか。

**田口町長** 学校や保育園の数については議論の中には入っていません。今後十年間は議題に乗

# 真剣に考えよう 合併について



11 / 5 元町集落開発センター

らないようにしたいと思いません。しかし、保育園の場合は、運営上の問題から、小学校と同じ館に入れるなどの対策を考える必要があると思います。

## 建設計画素案の組立ては？

**担当課長** 現在新市の建設計画の素案について審議が重ねられています。その建設計画(素案)には、具体的な事務事業も掲載されます。それを実施するためには合併特例債が許可され、実施財源として新市の計画が実施されます。

充当される事業については、県の審査を受けます。具体的には新市庁舎の建設や、高度情報化システム、県営事業、一部事務組合で取り組む事業などが優先採択されます。財源があれば、市町村の総合開発計画に搭載された事業も優先順位をつけた順に採択されることになります。

**質問(男性)** 津南町が外れたことにより、中里村や松之山町が揺れています。津南町の影響が強いと考えますが、一緒にやる努力はできませんか。

**田口町長** 私も六市町村が一緒になることを望んでいましたが、今の段階では、津南町が合併特例法の期限内に参加することはないと思います。

**質問(男性)** 基金を貯金、地方債は借金という見方では、川西町は一人当たり三二万円の貯金と、一三三万円の借金があることになります。単純に一人当たり一〇二万円の借金を背負うことになり、厳しい状況が読み取れます。

**田口町長** 下水道事業・学校の体育館整備などを、平成の時代に入ってから十年間で進めてきました。そのような事業に取り組んだことで借金が増えていきます。今その返済のピークが来ている。大きな投資は賑わい空間が終了すればないと思います。



マンホール据付工(下水道)

す。

**質問(男性)** 合併して平均すると、資料では借金が九〇万円になり、川西町の場合は下がることになって、十日町市は逆に合併すると借金が九千円増えると考えて良いですか。

**田口町長** 今後の事業を抑えて行けばそのとおりになります。十日町市の場合、取り組まなければならぬ事業が多くありますので、この数字では行かなくなると思います。

## ■山野田公民館(千手)

### 圏域の下水道の行方

**質問(男性)** 汚水処理について、十日町市は合併までにある程度の工事を進め、他町村に負担をかけないのか、それとも関係なしにプールになるのでしょうか。

**田口町長** 下水道については、川西町は進んでいます。中里村と松代町はあと二〜三年で相当整備が終わる予定です。川西町は早く整備が完了した分、その返済金が多くあります。地域のバランスは、十五年くらいで同じようにしなければいけないと思います。

**質問(男性)** 少子高齢化と言っているが、十日町市と一緒に

なると子供が増えるのですか。十日町市はサービスが良くないので、合併すれば川西町はひどい目に合うのではないですか。

サービスの良くない所と一緒になるのより、がんばって自立した方が生き残れそうですが。

**田口町長** マイナスがいくつ寄っても良くならないと思います。ひとつになるというのは行政がスリム化し、職員が三分の二くらいで済み、経費の削減が可能となることから、最終的には合併した方が良いということを取り組んでいます。

**質問(男性)** 仕事の量も減っているが、我々ががんばっているのだから、職員も努力してはならないと、経費だけの問題ではないと思います。

**田口町長** ある面では住民サービスは低下し、住民負担も多くなるものがあると思います。これからのニーズとして、高速通信網の整備は、新幹線などに匹敵する基盤整備と言われています。これは単独市町村では取り組めない事業です。

### 合併せず生き残れるか？

**質問(男性)** 合併しなくても生き残れる道があると思います。どうですか。

**田口町長** 生産年齢層の若者が



# 真剣に考えよう 合併について



川西町で開催した  
第4回新市名称案選定小委員会

## 新市建設計画（素案） を答申

九月二十四日に合併任意協議会長（山本中里村長）から諮問を受けた「新市建設計画の素案策定」について、四回の会議を重ねた結果、第十二回合併任意協議会の席上、新市将来構想検討委員会高津富士男委員長から答申されました。

今後は、答申された素案をもとに、県知事と協議を行い、合併法定協議会で協議が進められます。

## 新市名称案

- ・越後妻有
  - ・奥越後
  - ・新十日町
  - ・妻有野
  - ・十日町
  - ・美雪
- の五案に追加

圏域の皆様からお寄せいただいた名称案の中から、新市の名称案選定小委員会による二回の審査を経て、五案を合併任意協議会に報告しました。

合併任意協議会で検討した結果、更に一案（美雪）を追加し、六案の候補の中から、合併法定

協議会で新市の名称として決定することになりました。

一次審査では、新市将来構想検討委員会二十五人が推薦した名称六六案をもとに、有識者の意見聴取を参考にして、推薦された案をそのまま選定しました。

二次審査では、六六案の中から、小委員会の委員が各自三案以内で推薦し、一七案に調整した後、五案を選定しました。

なお、選定過程については、「合併の風／第七号」に掲載しますのでご覧ください。

## 議員の選挙区の定数は 法定協で決定

市町村合併という特殊事情から、議員の著しい減少を回避するため、最初の選挙に限り選挙区制を設け、定数を四十名以内とすることは、第十回合併任意協議会で確認をされています。

しかし、選挙区における定数を何人に設定するかについては意見調整ができず、法定合併協議会で十分検討し決定することになりました。



合併任意協議会委員の皆さん

## かわにし合併物語



アンケート調査  
終了しました

市町村合併を更に深く検討するため、合併法定協議会に参加することに対して、住民の皆様のお考えを伺うことを目的に、「市町村合併に関するアンケート」を実施しました。

十一月十七日から、川西町にお住まいの一八歳以上の二、二〇〇人の方々に調査表をお送りしました。

調査にご協力をいただき、貴重なご意見をお寄せいただいた皆様に厚くお礼を申し上げます。なお、調査結果については、「合併の風／第七号」でお知らせします。

## お知らせ

アンケート調査結果を速やかにお知らせするため、「合併の風／第7号」の発行を今月に限り20日に変更しますので、ご了承ください。



## 【ご存知ですか介護保険】 川西町の独自サー ビスについて

前回まで数回にわたって、介護保険のサービスの種類についてみてきました。

様々なサービスがありました。が、大きく分けると二つに大別されます。居宅サービスと施設サービスです。

このうち居宅サービスについて、川西町は、独自のサービスとして、利用者負担額の軽減を行なっていることをご存知でしょうか。



す。ここにちは、健康シエンで

え、川西町の独自サービスなんて知らなかったよ。それはすごい。他の市町村ではしていないの？

はい。近隣の市町村で居宅サービスの軽減を行っているところはほとんどありません。

軽減の対象者はどんな人なの？

介護認定を受けている方で、介護保険料の支払段階が「第一段階」または「第二段階」の方です。

なるほど。この二つに該当すれば、みんな軽減を受けられるのかな？

まずは、役場に申請をして軽減の認定を受けなくてはなりません。

該当者には、役場けんこう支援課介護保険係から申請の案内通知を送付しています。

もし自分が該当するかどうか知りたい方は、お気軽に介護保険係にご確認ください。

どれくらい軽減されるの？

通常、居宅サービスの利用者負担は、かかった費用の1割

(一〇%)ですが、そこからさらに五%軽減します。

え、すごい。つまり利用者の負担はたったの五%になるの！

はい。川西町では、介護サービスを利用するできるだけ多くのみなさんが、住み慣れた自分の家で暮らしてほしい、そんな願いを込めて、このサービスを始めました。

そうだね。住み慣れた自宅で、みんなが笑顔で暮らせたらいいよね。



申請方法など詳しいことは、左記までお願いします。

●お問合せ先

けんこう支援課介護保険係

(☎688-4957)

## 健康増進施設(健康プール)の 建築工事が進んでいます(その二)

固い地盤を突破しました！

今年六月に着工した健康増進施設(健康プール)建築工事は、ほぼ予定どおり順調に進んでいます。

基礎工事では思いのほか地盤が固く、基礎杭の打ち込みでは時間がかかり予定よりも遅れてしまいましたが、現在その遅れをほぼ取り戻すことができました。これまでに基礎杭の打ち込み工事、地下部分の躯体工事、一階部分の基礎工事が終わり、一階柱、壁の鉄筋・型枠工事が進められています。

温泉の源泉を引き込みます！

地下一階には機械室、電気室、水槽室などがあり、プール温水のろ過や加熱、建物内の空調などを行う機械設備を設置しています。また、地上一階には、温水プールのほか更衣・洗面室、ミーティングルーム、事務・監視室、倉庫などを配置しています。

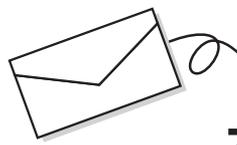
プールは長さ二五メートル、幅一〇メートル、深さ一、一メートルで五コースになり



ます。それに幼児用プールを併設し、また、体を温めるために温泉槽(千手温泉の源泉を引き込みます)を設置しています。

この建物は、鉄筋コンクリート構造になっていることから通常の雪であれば雪下ろしの必要はありません。また、構内には利用者の駐車スペースとして四四台の駐車場を確保しています。これからの工程は、一階部分の柱、壁のコンクリート打設、屋根工事を予定しており、年内には建物の形が見えてくる予定です。これから、だんだん建物の形が見えてきます。楽しみに見守ってください。

# お寄せください あなたの 意見・提案・質問



防接種（二回で六、〇〇〇円程度必要）が家計への負担になっている。高齢者に対する予防接種同様、小児の接種へも助成してほしい。



また、学校などで集団接種することにより、保育園・小中学校の大流行も予防できるのではないかと。

## 〈法改正で任意の予防接種になりました〉

町では、皆さんのご意見やご提案をまちづくりにかかしていきたく、「まちづくりについての提言や意見・質問」をいただいています。これまでに届いたものの中から、紙面で紹介する必要があるものを、内容を抜粋してご紹介します。

**A. 市町村が実施する予防接種の種類は予防接種法により定められており、町でもこれに従い実施しているところです。**

## 小児のインフルエ ンザ集団接種はでき ないの？

（44歳・女性）

Q. 小児のインフルエンザ予

お尋ねのインフルエンザ予防接種は、平成五年までは、臨時の予防接種として幼児・小学生・中学生に実施してまいりました。しかし、平成六年十月に「社会防衛から個人防衛へ」という考えの中で法の改正が行われ、インフルエンザは集団予防

より個人予防に重点を置くことになり、法で定める予防接種から外れました。

つまり、インフルエンザは個人が行う任意の予防接種となり、行政が行う予防接種ではなくなりました。

その後、平成十三年に再度の法改正があり、改めてインフルエンザが法で定める予防接種となりましたが、その対象は、六五歳以上の高齢者と六〇歳から六五歳未満の法で定める障害を有する方に限定されています。

したがって、小児への接種は、法で規定する予防接種にならないことから、今のところ町での接種は行っていません。

また、助成については、町でも皆様のご要望にお応えしたいところですが、個人の発病・重症化を防止することの積み重ねとしてインフルエンザの集団予防を図るといふ法の主旨から、個人の判断・負担での接種をお願いしているところです。県内全体でも同様の取り扱いとなっておりますので、ご理解をお願いいたします。

なお、町の国保診療所では、一歳児から小学生については、今年から二回接種しても一回分の料金（三、〇〇〇円）で実施しています。

## だんだんどーま！ ⑳

### ナイス・スクラムの巻

「みんな気持ちが同じだね」「花のように華やかでさー」「箸が転んでもおかしやんだよ」…のっけから大ノリの大爆笑…。

「これがこの会のそのまんな姿なんです。ナイス・スクラム会長の北野一美さん（61・発電所通り東／写真前列右）はそう言っ



「花づくりは、仲間づくり、環境づくり、地域づくりに結びつく」という北野さんたちの活動が認められ、このほど、「第四回住みよい町づくり妻有ショッピングセンター環境賞」を受賞しました。

同会は、平成五年、当時の商工会婦人部の役員をベースに発

「息の合った仲間が、役員終わってそのまま解散じゃ、もったいなくてね。ただ、集まるにはそれなりの切っ掛けがないと…」と始めたのが花作り。三年前には花壇を本格的に整備して花のアートコンクールにも応募、毎年受賞を重ねています。場所は、妻有

大橋から河岸段丘を登り切った眺望抜群の自稱「千年の丘」。

「花を見て怒る人はいないでしょうから」と、ドライバ―や歩行者の目に止まりやすいように配置が工夫されていて、花であしらった「交通安全」の文字に、心を和ませられた人も多いのではないでしょう

「花づくりは、仲間づくり、環境づくり、地域づくりに結びつく」という北野さんたちの活動が認められ、このほど、「第四回住みよい町づくり妻有ショッピングセンター環境賞」を受賞しました。

活動の源は？

の問いに「大勢の力」と答える北野さんの声をささげつつ、「会長のリーダーシップ！」と異口同音の声がかざります。これからは？「これからが本番」「今までおとなしすぎたからね」(笑)。

エネルギー一二〇%で新しい年へ向かうようです。

# 募 集

## 第二回キラリ★あいあい祭り「雪上結婚式」にて式をあげたい方大募集!

あいあい祭で、雪上結婚式を挙げてみませんか。きつと素敵な思い出になるはずですよ。  
愛がいつぱいのカップルさんをお待ちしています。  
例えば・・・

★これから結婚式をする予定のカップル

☆籍は入れてあるけどお金がなくてまだ式を挙げていないカップル

★十年前に結婚したけれど式をあげていないご夫婦

☆自然に囲まれた手作りのあつたかい結婚式してみたい! というカップル

※スタッフも同時募集

### ■問い合わせ

仙田体験交流館キラリ  
☎61-2008

## 空き家情報を募集します

新潟県では、県内外からの各地域への人の移住や交流を目的として、今年度から「いきいき

住まい再生支援事業」に取り組んでいます。

具体的には、県内の空き家情報等を県の設置するホームページへ登録等を行い、住宅情報とともに、地域を県内外へ発信していきます。

川西町でも、この事業に取り組みことを検討しています。

空き家等をお持ちの方で、この事業に対して情報提供できるという方は、お知らせください。

(川西町在住の方でなくとも、川西町に空き家等をお持ちであれば、登録することができます。

町外の方でも情報提供できそうな方がいらしたら、お声をかけていただければ幸いです。

提供いただく内容は、次のとおりです。(ご都合により一部登録しないことが可能です。)

↓住所、周辺環境、位置図、配置図、平面図、家賃、連絡先等

なお、ご連絡をいただいた後、情報を登録する前に調査にうかがいますので、ご了承ください。

※空き家情報登録後、移住や交流(空き家の賃貸・購入等)希望者がいた場合、その後の売買・賃貸契約等については、所有者の方から個々に対応していただくこととなります。

### ■問い合わせ

まちづくり推進課  
☎68-4952

## 交通遺児友の会 書道コンテスト 作品募集

■応募資格 自動車事故により保護者が死亡または重度の後遺障害者(一〜三級)となつた家庭の小学生から中学生までの児童

### ■課題

小学校低学年 げんき  
小学校中学年 明るい未来  
小学校高学年 緑の大地  
中学生 平和への誓い

■応募締切 十六年一月二十日

■応募方法 応募作品は、原則として書初め用紙または半紙を使用し、一人一点とします。

### ■送り先・問い合わせ

独立行政法人自動車事故対策機構新潟主管支所  
〒九五〇-〇九六五 新潟市新光町六一四(新潟県トラック総合会館二階)  
☎025-283-1141

# 相 談

## 考えましよう! あなたのからだ

当協会では、「過労死」等の相談に応じています。

過労からくる健康のこと、精神的悩み、労働保険のことなどの相談に応じています。秘密は厳守され、相談は無料です。

### ■問い合わせ

(財)労災年金福祉協会 新潟  
新潟労災年金相談室  
☎025-243-7760  
フリーダイヤル 0120-603-114

## 結婚相談員にお気軽にご相談ください

■期日 十二月十五日(月)

■時間 午後七時〜九時

■会場 総合センター

### ■担当相談員

清水美代子、小林可生

### ■問い合わせ・予約先

農業委員会事務局  
☎68-4955



# そ の 他

## 「いもち病に強いコシヒカリ」試食結果のお知らせ

かわにし自満祭(十一月二日)の来場者にご協力をいただき、本年産米・同一生産者による「通常コシヒカリ」と「いもち病に強いコシヒカリ」の、試食とアンケートを行いました。試食者には赤・青の表示のみで、どちらの米かは公表せずに行いました。結果は次のとおりです。

(単位:人)

食味	おいしい	少しおいしい	同じ	少しまずい	まずい	計
職業						
記入なし	2	3	1	1	5	12
農 家	7	19	11	16	3	56
非農家	13	8	15	12	0	48
計	22	30	27	29	8	116
比 率	44.8%		23.3%	31.9%		100%

試食は、「通常コシヒカリ」(赤)を基準にしてもらい「いもち病に強いコシヒカリ」(青)の食味について記入してもらいました。

■問い合わせ 農林振興課 振興係 ☎68-4954

ご利用  
ください!

# 奨学金 貸与制度

平成十六年度  
申し込み締め切りは  
三月十二日(金)まで

奨学金貸与制度を希望する方を次の要領で募集します。

## ●貸与を受けることができる方

(※①～③の全てを満たしていること)

- ①町に本籍があつて、奨学金貸与申込書提出日前二年以上町に居住する方
- ②平成十六年度に高等学校、高等専門学校、専修学校(修学期間は二年以上)、短期大学及び大学に進学予定か在学する学生・生徒(奨学生)を養育する方
- ③経済的理由で学費の支払いが困難な方

## ●奨学生の条件

- ①町を愛し、勤勉の志が高い方
- ②学業成績が優秀と認められる方

## ●奨学金の月額

- ①高等学校 一万円
- ②高等専門学校 二万円
- ③専修学校 三万円
- ④大学(短大を含む) 三万円

## ●貸与期間

貸与決定の月から、奨学生が在学する学校の最短修学年の終期までです。

## ●奨学金の返済

- ①奨学金には利息がつきません。
- ②据置期間一年ののち、八年以上に年一回または二回のいずれかの方法で返済します。

## ●提出書類

- ①奨学金貸与申請書
- ②学校長の推薦書
- ③誓約書
- ④成績証明書
- ⑤住民票謄本
- ⑥平成十五年度町県民税所得課税証明書(家族全員が載っているもの)

## ●申し込み

三月十二日(金)までに教育委員会学校教育課へお申し込みください。申し込みに必要な用紙は、教育委員会に備えてあります。

## ●問い合わせ

教育委員会学校教育課  
(☎68-2167)

# 催し

## 青少年のための 科学の祭典2003 新潟県大会

子供達に科学や技術を身近なものとして、楽しみや興味を持つてもらうため工夫を凝らした実験・工作教室をはじめ、楽しいマジックショーや実験パフォーマンスを行います。

■期日 十二月十三日(土)  
〃 十四日(日)

■時間 午前十時～午後五時  
(十四日は午後四時まで)

■会場 新潟県央地域地場産業振興センター(三条市須頃)

## ■問い合わせ

青少年のための科学の祭典  
新潟県実行委員会事務局  
(新潟県産業労働部産業振興課内)

☎025-285-5511  
(内線 2784)

## 川西町社会福祉協議会 事務所移転のお知らせ

川西町福祉センターが完成したことに伴い、社会福祉協議会の事務所を左記に移転しました。

〒948-0144  
川西町大字水口沢七一番地  
(福祉センターはあとふる川西内)

☎0257-68-3343  
FAX 0257-68-4647

## ★マルチメディアフェスティバル2004 in 越後妻有

十日町地域6市町村主催の「マルチメディアフェスティバル2004 in 越後妻有」が1月31日(土)、2月1日(日)の2日間、十日町情報館を会場に開催されます。

「地域情報化について考えよう」をテーマに、講演、パネル展示、イベントなどお子さんからお年寄りまで楽しめる企画が盛りだくさんです。詳細が決定次第、広報紙・ホームページ等でお知らせします。

## ★第3回越後妻有ホームページコンテスト

圏域内の企業や個人のホームページも以前にも増して数多く見られるようになってきたことから、恒例となりましたホームページコンテスト(『第3回越後妻有ホームページコンテスト』)をおこないます。参加されたホームページは、会場にて来場者から自由にアクセスして閲覧していただきます。豪華賞品も多数用意しております。是非この機会にご自慢のホームページを参加させてみてはいかがでしょうか。

詳しくは十日町地域広域事務組合ホームページ

(<http://www.echigo-tsumari.jp/mmf04>)

の応募要項をご覧ください。

■募集期間 平成15年12月1日(月)～平成16年1月23日(金)

■募集部門 一般部門・小中学校部門・ビジネス部門・携帯部門

◎問い合わせ 十日町地域広域事務組合企画振興課  
☎0257-57-2637

◎HP <http://www.echigo-tsumari.jp/mmf04>



こへび隊と地元の人たちの連携プレーで布をつなぎました



はがきをつくるワークショップでは、親子のチームプレーが見事に発揮されました



大空に舞う  
「ホワイトプロジェクト」

# 大地の芸術祭が 残してくれたもの

## 《前編》

七月から九月にかけて開催された第二回大地の芸術祭（越後妻有アートトリエンナーレ2003）では、二三か国、一五七組の作家が参加し、六七点の前回作品と合わせて二三四作品が広域六市町村（十日町市・川西町・津南町・松代町・松之山町）の自然や生活空間を舞台に展開されました。

七月から九月にかけて開催された第二回大地の芸術祭（越後妻有アートトリエンナーレ2003）では、二三か国、一五七組の作家が参加し、六七点の前回作品と合わせて二三四作品が広域六市町村（十日町市・川西町・津南町・松代町・松之山町）の自然や生活空間を舞台に展開されました。

七月から九月にかけて開催された第二回大地の芸術祭（越後妻有アートトリエンナーレ2003）では、二三か国、一五七組の作家が参加し、六七点の前回作品と合わせて二三四作品が広域六市町村（十日町市・川西町・津南町・松代町・松之山町）の自然や生活空間を舞台に展開されました。

（三年前の前回より二六%の増）があり、その経済波及効果は一八八億四、〇〇〇万円（前回の一・四八倍）にもものぼったと報告されています。

この事業の運営には、各自治体や経済団体、地域住民が有機的に関わったことはもとより、「こへび隊」という首都圏の学生を中心とする自主運営サポートの存在が大きなウエイトを占めています。

言い換えれば、五〇〇人を超える「こへび隊」なしには芸術祭の運営はできなかつたと言え

僕が伝えたいことは三つです。

①芸術祭がどれだけ楽しかったか。

②川西、妻有がどれだけ好きだったか。

③三年後がどれだけ楽しみか。

これらのことが僕の個人的な体験を述べることで少しでも伝えたいと思います。

僕が初めて越後妻有、川西町にやってきたのは今年の四月

僕が伝えたいことは三つです。

①芸術祭がどれだけ楽しかったか。

②川西、妻有がどれだけ好きだったか。

③三年後がどれだけ楽しみか。

これらのことが僕の個人的な体験を述べることで少しでも伝えたいと思います。

僕が初めて越後妻有、川西町にやってきたのは今年の四月



矢野 寿洋

る、日時計の作品（これは三年後まで展示しているのは是非見に行ってください）が楽しかったです。

見た人は知っているとと思いますが、これは登るのが大変で、便所もなく、

僕たちにとっても、見に来た人にとっても大変なところでした。でも、印象的だったのは、みんなせえせえいいながらも、しんどいといながらも、すごい顔をしてるんです。景色がいろいろの景色が。

でも、多分作品がなければ、地元の人でさえ行かないような場所なんです。場所を発見したということだけでも、作品の価値はあったと思います。

また、登るしんどさを共有した仲間みたいな感覚で、いろいろな人からいろいろな話を聞きました。身の上話はもちろん、景色のこと、昔のこと、農業用池のこと、川のこと……。

たったの一日で、僕は多くのことを、多くの時間を共有できました。

ここでは語りつくせませんが、他にも僕はいろいろなものを、ほんとうにいろいろなものを



越後三山を望む高台に設置された日時計

を学びました。芸術祭に、川西に、ほんとすべての人に、感謝しています。

P・S

川西町のみなさんへ。

川西の自慢は何ですか？

お米ですか？お酒ですか？自然ですか？あたたかい人々ですか？

そこにホワイトプロジェクトが、ベリーハウスが、光の館が、加わっていると幸いです。

（東京大学工学部建築学科四年／愛媛県松山市出身）

## 今年の収穫

鈴木 理恵

二回目の芸術祭が閉幕して三か月余りが過ぎました。川西町は私にとって自分の地元とは別のトクベツな場所です。

今だに残っているのは名ヶ山宿舎（十日町市）から川西町

ナカゴまでの農道に広がる田んぼとナカゴのおっきな空、そしてそこで生活を営んでいる地域の方々。思い返すに心地よさが伴う、何か不思議な感情が湧いてきます。

こへげ隊という何とも定義づけのできない曖昧な単位のお陰で、ホワイトプロジェクトの白い布のお陰で、私は川西町に足を踏み入れることができたのです。そして、みなさんと一緒に作品を作り上げた。住民でもない縁故関係があるわけでもない私が、何世代も上の方たちと対等な（と私は解釈しているのですが）立場で作品づくりに関わることが、今振り返ってみても不思議なことです。

集まった布の縫い合わせのスケジュールに無理があったり、撤去後の布の行方がなかなか決まらなかったりと不安定な部分もありましたが、「会期までにこの大量の布を釣り糸に縫いつける」という同じ目標に向かって一心になって取り掛かった時



地元のお祭りにも参加しました

には皆さんとの無言の連帯感を感じました。

自分の父親と同じ頃に生まれた方と白い布を縫う。すっかり小さくなった我が家のおばあちゃんより一〇歳も年上の方と作品の設置の仕方について話を交わす。自分の母親よりもパワーを秘めた（突出した？）女性が多様に存在することに気づく。社会に対して全くリアリティのない私にとって、世代という概念が頭に入ってきたことが大きな発見でした。

まだまだ皆さんの日常を知ることができたとは言えませんが、人と人との関係が何だか心地いい。いろんな世代が当たり前のように存在する中に自分も

いることが嬉しい。（大学で一人暮らしをしているとそんな当たり前のことをつい忘れてしまいます）そう考えると、私の知らないところで本当に多くの方々に見守られ支えられてきたんだなあと思います。

もしかしたらそれが「地域」なのかも知れません。そこで人と人との繋がりを感じ、多くの情報が右の耳から入って左の耳に抜けていく一部ではなく、足を止めて見つめていきたいものができたこともまた収穫です。

地域も世代も立場も違うけれど刺激し合えるいい関係を保ちながら、芸術祭を切り口に妻有地域が進みたい方向と一緒に探していけたらと、本当に心から思っています。

これからも、どうぞよろしくお願ひします。

（筑波大学第二学群比較文化学類四年／山形県米沢市出身）

……こちらこそよろしくお願ひいたします。川西町の人たちも皆さんの熱意と行動力に感激し、大いに勇気づけられました。きつと、つらいことやトラブルもたくさんあったことでしょう。それらも含めて貴重な体験として、次のステップに生かしていってほしいですね。

（つづく）

## 川西高校ボランティア部から あったかい贈り物



クッションは車いすにぴったりとはまる大きさに作りました

十一月十一日、川西高校ボランティア部（藤巻純部長）の一行がデイサービスセンター・ファミール川西を訪れ、車いす用クッション一〇枚を寄付しました。

これは、一〇センチ幅の端切れ（布）をつぎあわせて同部員が手作りしたもので、材料は町内の縫製会社からもらい受けました。

当日は、ファミール川西を代表して丸山晴久施設長がクッションを受け取り、「利用者はお尻の肉が少ない人が多く、施設のクッション

も大分くたびれてきていたところなので、大変ありがたいです」と思いがけないプレゼントに喜びを隠せない様子でした。

この日、同部ではこれに先立って千手保育園にエプロン、椅子、紙で作った刀を、町社会福祉協議会にユニセフ（国際児童基金）への寄付金として一七、七九二円を、それぞれ寄付しました。

同部の渡貫厚美さん（三年）は、「施設の訪問や保育の手伝いなど、年間を通じて活動しています。寄付金は文化祭の売上金で、フランクフルトやクッキー、廃油石けんなどを売ってつくりました。少しですが役に立てたら嬉しいですよ」と、ちよっぴり恥ずかしそうに話してくれました。

## 今年も満員大入り！ 白倉自慢会



市場顔負けの盛況ぶり

11月3日、白倉交流センターで「第17回白倉自慢会」が開かれました。

一年間丹誠込めた農産物を持ち寄って自慢し合おう！という趣旨で始まったこの行事は、質の高い野菜やしめ縄が安価で販売されるとあって、開催当初から「超」人気を呼び、毎年開場を待つ人の列ができるほどの地域の顔の行事となっています。

今年も白菜や大根、ネギ、里芋などの秋野菜はもちろん、全国に顧客をもつしめ縄やタニシなどが体育館いっぱい展示されました。

が、午前10時の開場と同時にお客さんが殺到し、千数百点あった野菜も、30分後には大方がなくなってしまうという人気ぶりでした。

外ではジャンボカボチャのコンテストや餅つき、鯉こくのふるまいもおこなわれ、晩秋の山里は今年も一番の賑わいに包まれていました。

## 芸大生も出演 ゆーゆーコンサート

十一月二十四日、総合センターを会場に「第十四回ゆーゆーコンサート」が開かれました。

第一部は、地元音楽愛好家による発表会で、大正琴合奏やフルートアンサンブル、ピアノ四重奏、がちょうの会のコーラスなどが披露されました。

第二部は、東京芸術大学の学生をゲストに迎えて演奏会が行なわれました。現役芸大生の奏でる優雅な調べに、訪れた人たちは時を忘れて熱心に聞き入り、すっかり演奏を堪能した様子でした。

演奏が終わると、会場からはアンコールを求める大きな拍手が湧き上がりました。



東京芸大生の演奏にみんなが魅了されました

# 美・食・芸 魅力満載！ かわにし自満祭

第八回を迎えた「かわにし自満祭」は、11月1日と翌2日の2日間、川西町総合体育館と川西中学校を会場に開催されました。

中学校体育館では、1日に「かわにし夢きゃらばん」による演劇『かたっこ咲いた』の公演が行われ、プロ顔負けの演技と演出に会場を埋めた観客から惜しめない拍手がわき上がっていました。また、2日には、錦鯉品評会やミニゴルフ大会など多彩な催しが行われました。

地元産の新鮮で安い野菜やおいしいものを集めた屋台も人気の的で、豚肉パックの販売や川西スタンプ券と鮭一尾の引換には、行列ができていました。屋内では、40以上もの演目が上演された「民謡とおどりの祭典」が観客を魅了し、大なわとび大会では、87回を跳んだ野口V8チームが三連覇を飾りました。

また、総合体育館では2日間にわたり、「町民文化祭かわにし2003」が行われ、川西町美術展やふれあいの里かわにしビデオ上映、JA女性部による作品展示などが催され、両日とも賑わいをみせていました。

晴天に恵まれた自満祭、心と舌で十分堪能した人が多かったようです。



今回は、ピアの少女と森の動物たちの物語（かわにし夢きゃらばん）



う〜んこれは…読まんねな



見事V3を飾った野口V8チームの跳躍(大なわとび)



これうんめかい？  
そーだこっつお！



各団体とも日頃の稽古の成果が遺憾なく発揮され、会場では、終日拍手がこだましていました



赤い羽根募金もありました



“泳ぐ宝石”にうっとり



運び手も、ねじりはちまきでてんでこまい、おっと、これは田口町長… (木落)



「こっけうんめやんはねこっつお」ハシを差し出すタイミングも順番待ち (木落)

## 秋はやっぱりそば三昧！ 岩瀬と木落でそば祭り開催

実りの秋を満喫するそば祭りが、岩瀬と木落で開催されました。

岩瀬では十一月九日、第六回「岩瀬そばまつり」を岩瀬ライスセンターを会場に開催。転作田や岩瀬体験農園で育てた新そばを、村中総出で打って一般に提供しました。

当日は、衆議院議員総選挙の投票日と重なり、またあいにくの雨模様とあって出足が懸念されましたが、十一時の開場と同時にお客が押し寄せ、そんな不安はまたたく間にかき消されました。

「今年のそばは特にコシが強い」「そばもうどんども、つきたての餅がまたこっつおなんだて、豚汁も最高」と、四〇〇食分はあれよあれよという間に平らげられてしまいました。このほか、とれたての野菜を直売する岩瀬楽楽市場も好評で、終日人が絶えませんでした。

一方、そば祭りでは先輩の木落では十一月十六日、八回目となる「もくらくぞつき秋の陣」を木落構造改善センターで開催しました。こちらも、開店の十一時四十五分直後にほぼ満席となり、そばが配られるやいなや、つつつ、ぞぞぞという音が会場を支配しました。

十日町市から初めて参加したという五〇代の女性は、「前から評判を聞いていたので一度味わってみたいと思っていました。評判以上ですね、あんまりおいしくて苦しいくらいに食べてしまいました。病み付きになりそうです」とすっかり気に入った様子。

そばのほか、大福餅や手作り豆腐、もつの煮込みなども飛びよりに売れ、主催者もほくほくだったとか…。

岩瀬、木落両集落のそば祭りは、川西町の秋になくはならない風物詩になったようです。



そば打ち体験も人気でした (岩瀬)



もちつきが始まるとすぐに人だかりができます (岩瀬)

## 川中で爆笑と感動の講演会

十一月十一日、川西中学校体育館で家庭教育講演会が開催されました。

講師は、NHK手話ニュースキャスターとして人気の講演パフォーマー丸山浩路氏で、演題は「チャレンジして変身！ナンバーワンよりオンリーワン」。

全国各地で感動の渦を巻き起こしている丸山さんは、川西中学校の全生徒と保護者に向かって、「夢は見るもの、希望はかなえるもの、目標は実現させるもの」だから、「自分に向いているかどうか確かめるために何にでもチャレンジしよう」、そして、「全部一番になろう」とい、「『これだ』と思ったら一直線に進もう」、そして「続けることで価値が生まれ」、「ナンバーワンよりオンリーワンが輝き出す」と、具体例を示しながら全身を使って訴えかけました。

衣装や小道具、照明にも凝った演出を用意し、ジョークをちりばめながら全力で語りかける丸山さんの講演に、最初はつつむいたり私語をしていた生徒

も、背筋をピツと伸ばして聴き入り、最後には涙をぬぐう姿も見られました。

この感動を、すぐ実行に移していきたいものです…。



パフォーマンスと熱意で、生徒たちをとりこにした丸山さん

# 来年のコンサートまでよく休んで 千年の森のブナ



「うおっしや、広角まきだ！」  
…中学生はけっこう楽しんでいま  
した

新緑のブナ林に国際的に活躍する音楽家が奏でるハーモニーが響き渡る「千年の森コンサート」は、県内外のファンも多く、町の主な行事のひとつにもなっています。一方、大勢の人たちが訪れることで、むき出しになったブナの根を傷つけてしまい、成長の妨げにもなっていました。そこで、ブナ林の保全を図るため、今年からコンサートは隔年で開催し、併せて保全作業を実施することになりました。

11月5日、その作業が二六公園で行われました。木の根っこを木材チップと葉で覆い、保護する敷設作業には、ブナ林保存会やコンサート実行委員会をはじめ、川西中の生徒を含む関係者ら総勢30人が参加しました。

ボランティア活動の一環として参加した中学生は、「お、意外に軽いな」「そっち、まいてないぞー」などと声を掛け合いながらにぎやかに作業を進めていました。

ブナ林は斜面で道もないため、中には、チップを入れた一輪車を、転がさずに持ち上げて運んでいたツワモノもいました。

## 藤田隆策さんに 社会保険事務局長表彰



栄町の藤田隆策さん(74)が、十一年にわたり国民年金委員を努めた功労から新潟社会保険事務局長表彰を受けました。

藤田さんは、平成四年に就任以来、年金給付の相談や加入促進に尽力してきたことが認められ、十一月十九日に役場町長室で社会保険事務局六日町事務所長から表彰状の伝達を受けました。

藤田さんは「このような賞をいただき、感激しています。この荣誉に恥じないよう、微力ながらこれからも精励する覚悟です」と、受章の感想と今後の決意を語ってくれました。

## 2周年ありがとう感謝祭 ～千手温泉・千年の湯～

11月23日と24日、千手温泉・千年の湯でオープン2周年を祝う記念イベントが催されました。

両日ともに久しぶりの晴天となり、秋晴れの空の下、訪れたお年寄りや子供連れの家族などが、屋台のそばやたこ焼きをほおぼる姿がたくさん見られました。

福まき大会や餅つき大会には長蛇の列ができて、足湯に浸かりながら新米の杵つき餅をおいしそうに食べる子供達の姿が印象的でした。

もうすぐ、入館者数50万人達成となる千手温泉は、開館から2年たっても人気は全く衰えていないようです。



足湯でぼかぼか  
あったかいね。  
うん、おいしいよ!



福まき大会は大にぎわい、みんな手を伸ばして、何がとれたかな?

## 自然に学ぶ集大成 長福寺で講演会



本堂いっぱいの参加者に語りかける大場さん

アマで、仏教子どもセミナーを開いてきました。五月に郡市内の小学生二五人が参加して無農薬有機コシヒカリのバケツ栽培を始め、夏休みには福島県で自然生活を体験、十月には育てた稲を刈り取って試食会も実施しました。

今回の講演会はセミナーの集大成で、一般の人たちにも食や自然について見直してもらおうという趣旨で催され、約三〇〇人が参加しました。

講師の大場さんは、北極・南極大陸の単独歩行横断を成し遂げた冒険家で、現在、山形県で冒険学校を運営しています。

講演の中で大場さんは、立ち寄った村の人たちの交流や、極地での食文化や狩猟生活などを紹介し、自然と共に生きることの大切さを熱く説きました。

最後に、子どもたちが育てた米で作ったおにぎりが来場者に配られ、心とお腹を満たされた参加者は満足そうに会場を後にしていました。

十一月十六

日、中屋敷の

長福寺で、郡

市青年僧侶の

会（北海道弘

会長）主催の

「冒険家・大

場満郎講演

会」が開催さ

れました。

同会では、

今年一年間

「このごはん、

どこからきた

かかんがえよ

う」というテ

## 奈良県川西町で 全国川西会議開催

11月25日から26日にかけて、奈良県川西町で「全国川西会議（ネットかわにし）」の総会が開催され、田口町長、吉楽議長のほか二人の職員が出席しました。

この会議は、「川西」名を持つ全国の四自治体（兵庫県川西市、山形県川西町、奈良県川西町、新潟県川西町）が地域間交流や災害時の相互支援を進めることなどを目的に、平成9年から開催しているもので、このほか夏休みの山村留学など、住民同士の交流も盛んに行われています。

会議では、今年度の事業報告と、来年度の事業計画などが話し合われましたが、各自治体ごとの市町村合併問題の状況報告が大きな話題になりました。

それによると、兵庫県川西市はもともと自立の方針、山形県と奈良県の川西町は、それぞれ参加していた合併任意協議会が解散し、合併を前提に調整が進められているのは、当町だけということのようです。

来年度は、当町で総会が催される予定です。みんなで歓迎しましょう。



毎年、4市町持ち回りで開催しています



賞金を手に喜びの金子さん



大賞受賞の「粉豆腐と煮なますの盛り合わせ」

## 「粉豆腐」スローフードコンテストで大賞！

十一月二十四日、まつだい雪国農耕文化村センター（松代町）で、「第一回秋の味覚コンテスト／スローフードで楽しむ妻有の秋」が開催され、当町の妻有郷食の研究会（金子ヒロ子代表）が出品した「煮なますと粉豆腐の盛り合わせ」が、見事大賞に輝きました。

この催しは、大地の芸術祭の松代ステーションとして整備された同センターの主催で開催されたもので、「ごはん、おかず、おやつ」の三部門に、プロ・アマ合わせて三九組が出品しました。

「煮なますと粉豆腐の盛り合わせ」はこのうち最もエントリーの多かったおかず部門の大賞に輝いたもので、郷土料理の粉豆腐と大根の煮なますがとても良く合っており、新しい大豆の香りで食欲をそそり、栄養価も高いと絶賛されました。

受賞した同会代表の金子さんは、「電話で誘われて、何がなんだか分からないまま出品したら、大賞だった、びっくりしやいました。でも、賞金ももらえてこんな嬉しいことないですね。次の研究に役立てたいと思います（笑）」と、素直に喜びを語ってくれました。みなさんも、次回は出品してみませんか。



あなたの話題

わたくしにヒトース

## そばまきアートに参加して

《小海利信さん（小根岸） 発》

**十** 一月十五日、秋晴れの中、上野青年会と上野地区子どもを育てる会主催のそば収穫の集いが行われ、当日は五〇人ほどの参加がありました。「大地の芸術祭」に連動して、八月に



みんなでそばの実を集めました 古代のひともこうやったのかなー

はそばまきアートとそうめん流しを行って、そばの種を花や鳥、蝶、文字などを描くように畑に畑いっばいにまきました。

九月の節黒城ハイキング・

そばアート鑑賞では、白いそばの花が鮮やかに咲いていました。長雨のせいでそばの育ちが悪く花や鳥に見えにくい部分もありましたが、それなりにアートになっていたので鎌で収穫も、そばの丈が低かったので鎌で刈り取るまでもなく、小さな子どもたちも手でしごきながら実を集めました。ですが、収穫量は思っていたよりもありませんでした。子どもも大人もみんな一生懸命がんばったので作業も早く終わりで、ジュースとおやつを食べながら

労をねぎらいました。

ふるい分けは、やっぱり「昔の子ども」の出番



暮れには、みんなが楽しみにしているそば打ち&試食会が予定されています。みんなで育てたそばをみんなでおいしく食べたいと思います。

最後になりましたが、畑を提供してくださった方、道具を貸してくださった方、参加してくださった方々に感謝します。ありがとうございました。

## 五感で季節を感じました

《佐竹華奈さん（横浜市） 発》

**小** 春日和の十一月十日

五日、ナカゴゲリンパークのブルーベリー園で行われたワークショップに参加しました。



今回のワークショップは剪定や肥料まきなど、これからベリーを育てていく上で重要な作業を、「つくばブルーベリー園」の鈴木太美雄さん指導の下で行いました。

ジョークを交えながら剪定のやり方を楽しく教えていただきましたが、なかなか難しそうでちゃんとできるかとても不安でした。

二本の枝を前にどっちを切ろうと悩んでばかりいたのですが、鈴木さんや地元の方々に教えてもらい順調に作業を進めることができ、午後には川西中学校の先生方が来て下さったおかげで一日で全ての作業を終えることができました。

朝から夕暮れまで空の下で土いじりをするのは、とても新鮮で、また充実したものでした。

今回は私にとって大地の芸術祭以来の川西町だったのですが、すっかり秋の表情が変わっていました。

東京では気温の変化でしか季節の移り変わりを感じることができませんが、自然いっばいの中におかげで、五感全てで季節の変化を感じることができました。



剪定作業をする筆者（右）

このコーナーでは、皆さんの周りの身近な話題をお待ちしています。催しに参加した感想でも、「珍しいもの見つけた」でも何でも結構です。総務課文書広報係までどしどしお寄せください。( ☎ 668-4951・内線3005 )



仙田体験交流館の雪上ウェディングは大きな話題をさらいました

毎年、三月の第一土曜・日曜に開催され、これまで十七回の歴史を刻んできた町民あげての冬のイベント「かわにし雪まつり」が、十八回目を迎えて新たな風に包まれます。

## 脱マンネリ！

雪まつりも十七回を数えるのと、社会情勢の変化や関わる人たちの世代交代、内容のマンネリ化などで、少しずつ当初の勢いや目的から離れる要素が生まれてきていたようです。例えば、次のようなことがらです。

- ① 目的やコンセプト(概念)が不明確になってきた。
- ② 縦割りの組織体制になってきた。
- ③ スタッフの層が変わらない(広がらない)、人数が増えない。
- ④ 手づくりイベントから委託イベントへ移行してきた。

## ミニ特集②

# 変わる！かわにし雪まつり



自分たちで工夫してまつりを盛り上げるような流れが生まれてきました(松葉荘のライトアップ)

そこで、かわにし雪まつり実行委員会では、雪まつりの意義そのものから見直すこととし、内容を企画する企画委員を新たに募集することから始めました。求む！スタッフ「かわにし雪まつり企画委員の募集！」

十月一日、今年の雪まつりはこんな広報からスタートしました。

そして四回の企画会議を経て、一般公募を含めた十五人の企画委員による実施計画案が、十一月二十日、実行委員会にかけられ、満場一致で承認されました。

そこまでの道のりを追ってみました。

## テーマはやっぱり「住民参加」

十月二十四日、十五人の企画委員を選任しての第一回目企画委員会が開催され、ざっくりばらんに雪まつりについて意見交換をしました。

十月二十八日、二回目の企画委員会では、「あなたはどんな雪まつりを創りたいですか?」というテーマでワークショップを行いました。

十五人のメンバーが三班に分かれて話し合った結果、それは四つの柱に分類されました。

一つ目は、「参加者が主体になる住民参加型の雪まつり」「地域間、世代間の交流があ

参加型イベントとして根強い人気の仮装10人11脚レース



る雪まつり」、そして「大きな川西らしい目玉のある雪まつり」という《まつりの主体・目的》をうたった柱です。

二つ目は、「子どももお年寄りも世代を超えて楽しめる雪まつり」、そして「中学生、高校生も楽しめる雪まつり」という《参加者》に関することをうたった柱です。

そこから、今回の雪まつりのテーマを「住民参加」と導き出しました。

また、三つ目の《雪まつりを行なう会場》についての柱では、「地域ごとに実施」という意見が大半を占め、《イベント》に関する柱(四つ目)では、大

# 第18回 かわにし雪まつりイベント（案）

## 1 日 目

会場：各地域単位

- 各地区ごとで実施（イベント内容・実施時間は各地区で協議）
- ほんやら村（新規・地域ごとの特色を出したムラづくり）
- 屋台村（継続・各地域）
- もちつき（新規）
- 煙火（継続・各地域の要望に応じて実施）
- 雪像コンテストの審査（第1日目朝⇒第1日目夜）
- 各地区会場をシャトルバスで巡回（両日）
- 「みんなで創ろう piece to peace」パーツ作成（新規）

前夜祭は、各地域において、雪像やほんやら洞の周りに集い、雪まつりの開催を祝います

## 2 日 目

会場：総合体育館脇特設会場

- 仮装10人11脚（継続）
- 雪上フットサル（新規）
- 雪上綱引き（新規）
- ダンス甲子園（継続）
- 大抽選会（継続）
- 閉会式（雪像コンテスト表彰式（継続）・天神ばやし「かわにし Gottaku!!」（新規）、「みんなで創ろう piece to peace」発表（新規））

本祭は、町民が集って楽しむイベント会場を一か所にし、子どもから大人までが1日を通して楽しめるものにします

常時イベント

- 屋台村（継続・総合体育館脇特設会場）
- 子ども向けプレイランド（新規）  
例 ストラックアウト  
とりかえっこ等
- ホワイトプロジェクト昇天祭（新規）
- 「みんなで創ろう piece to peace」作成（仕上げ）（新規）

## 前夜祭は各地域で

勢が参加できる企画案が二〇種類以上も出されました。

第二回から二日しか経っていない十月三十日、第三回企画委員会が行なわれました。

『住民参加』をテーマとしたイベント内容を考えて欲しい」という課題でワークショップが開催され、実に四〇種類ものイベント案が出されました。

次はそのイベントを二日間の時間割に落としとしていく作業です。ここで、今までの雪まつりを一新するような意見が出されました。

一日目（前夜祭）を各地域で行い、二日目（本まつり）は例年どおり一か所で実施するとうものことです。「住民参加」というテーマから、「大勢の人から雪まつりに訪れて欲しい」「そのためには、足を運びやすい各地域でやったほうがいいのでは」「最後はみんなで一つに集結して終わりたい」「本まつりはみんなが参加できるイベントを多くしよう」などの意見がまとめられ、一つの流れが生まれました。

仁田の神輿会や仙田体験交流館のように、すでに雪まつりを集落や地域単位で盛り上げてい

ワークショップは和気あいあいと進められました



## 1 コインのご協力を！

これまで、雪まつりの財源は町、商工会、JAの補助金と、自主的な活動が町内各地で生まれることが、市町村合併をす・しないに関わらず大切なことだと結論付け、今までの雪まつりの路線を大きく変えることになりました。

これまで、雪まつりの財源は町、商工会、JAの補助金と、

商店や建設業者等の寄附金によって賄われてきました。これをもう一度見直し、町民創意の雪まつりという趣旨から、全世帯から一コイン（五百円）の協力をもらっていただくという案が出され、実行委員会でも承認されました。

ここには、「町民の皆さんからいただく寄附金は、町民の皆さんで創る雪まつり（前夜祭）に使ってもらおう」という意味が込められています。また、身近な場所にできた雪まつり会場に、ぜひ足を運んでいただきたいという思いも含まれています。

なお、企画委員から実行委員会に提出され、承認された「第十八回かわにし雪まつり」の原案は上記のとおりです。

十一月二十日発行のお知らせ版で「雪まつりスタッフ大募集！」の広報をさせていただきました。スタッフについては随時受け付けながら、町民をあげての雪まつりにしたいと考えています。

少しでも興味のある方、連絡お待ちしております！

## ■お問い合わせ先

役場まちづくり推進課商工観光係 ☎68-4952

⑪ 川西町  
体育協会



今回表彰された十三名の方々をご紹介します。なお、体育功労者章については、該当する方がありませんでした。

(敬称略)

●優秀競技者章(県大会で上位入賞または全国大会へ出場した成人・大学生など)

◇片桐健太(発電所通り・高田自衛隊) 第五十八回国民体育大会冬季大会バイアスロン競技に出場しました。

●奨励者章(県大会や北信越大会で上位入賞または全国大会へ出場した小・中・高校生)

◇登坂竜也(赤谷・当時十日町総合高校三年)

◇山崎徹(寺ヶ崎・当時津南高校三年)

◇五十川潤(沖立・当時八海高校三年)

この三名は、平成十四年度全国高等学校スキー大会クロスカントリースキー競技の個人競技やリレーに出場しました。

◇田邊貴大(南台・千手小六年)

◇高橋寛行(東善寺・千手小二年)

この二名は、平成十五年度全日本少年少女空手道選手権大会に出場。予選を兼ねた県大会でも、田邊君は小学校四年生から三年連続優勝を果たし、高橋君は準優勝しています。

◇田邊沙季(南台・千手小三年) 新潟県少年少女空手道選手権大会で三位に入賞

◇宮友宏(山野田・川西中三年)

◇川崎将幸(山野田・川西中三年)

◇根津裕太郎(野口・川西中三年)

◇高橋佑太郎(山野田・川西中三年)

◇星名貴弘(沖立・川西中三年)

◇田口航(木落・川西中二年)

この六名は平成十五年度北信越中学校総合競技大会の陸上競技で四×一〇〇Mリレーに四位入賞しました。

表彰を受けたいづれの方々も不断的努力を重ねられ、その成果が素晴らしい形で表れたものと思います。おめでとうございませう。今後の更なるご活躍を期待しています。

表彰式に引き続き、体育協会交流会が開催されました。皆さん、普段はなかなか一同に会する機会がないため、表彰された方々や保護者も交えて、食事をしながらいろいろな話に花を咲かせ親睦を深めていました。

■お問合せ先 川西町教育委員会内 川西町体育協会事務局

(068-2167)



## 脳卒中を防ごう

誰もが、毎日元気に暮らし、ある日コロッと逝きたい『ピンピンコロリ』を願っていることと思います。しかし、年を重ねるごとに、あちこちが少しずついうことをきかなくなるのも現実です。自分で身の回りのことが十分に出来ず、介護の手が必要となる病気の第一位は『脳卒中』です。今回は脳卒中の中でも脳出血と脳梗塞の病気と予防についてご紹介します。

半身のマヒが起きたり、ろれつがまわらなくなるなどの症状が起きます。

脳卒中を防ぐために最も大切なことは血圧を上げないことです。そのためには塩分を取りすぎないことが大切です。また野菜や果物に多く含まれるカリウムは、塩分を体から排出する働きがあるので、これらの食品を積極的にとることも大切です。その他糖尿病・心臓病・高脂血症も

脳の血管は終動脈といわれ、脳の組織には一本の動脈しか通じていません(脳以外組織には複数の動脈が入っています)。このため、脳の動脈が破れたり(脳出血)、動脈内に血栓ができる(脳梗塞)と、その動脈が運んでくる酸素や栄養が脳の細胞に送られなくなり、細胞は死んでしまいます。これが脳卒中の状態です。こうなると、突然倒れて意識がなくなったり、

危険因子です。また生活習慣では、大量飲酒・たばこ・運動不足・肥満が危険因子といわれます。

近頃では若い世代でも脳卒中になる人がいますから、誰もが他人事ではありません。長年の食習慣・喫煙・飲酒などが原因となって起こる病気です。毎日の生活習慣の改善が予防の大きなポイントになります。

戸籍の窓から

昇天—ごめい福を祈る

中 條 義 雄 77 (一 芳) 岩 瀬  
丸 山 鐵 四 郎 87 (本 人) 木 落  
星 名 正 一 91 (本 人) 木 島  
上 村 信 雄 68 (本 人) 上 野  
藏 品 保 夫 48 (本 人) 霜 条  
中 條 慎 吾 82 (本 人) 岩 瀬

うぶ声—おすこやかに

保 坂 京 佑 芳 和 田 中 町  
須 藤 未 羽 榮 下 原  
羽 鳥 美 海 麻 里 子 伊 友

高砂—ご円満に

(長谷川 明 洋 塩 辛  
小宮山 夕起子 十日町市  
(11月1日〜30日届け出順)



かわにし俳壇

高崎正風選

忠魂碑銀杏落葉に囲まれて  
すがれ茄子採って茄子木を抜きにけり  
投函の音にもありぬ秋の声  
新町新田 若山 向山  
蕎麦会の町長給仕爽やかに  
留守がちの男世帯や残る菊  
自慢会終わり過疎村冬に入る  
野口 野澤 寅生  
日の遠き木造校舎大根干す  
手の窪にいたたく里の菊なます  
吊橋の一人にも揺れ溪紅葉  
足立区 涌井ハル子  
落葉踏む足音だけが通りけり  
兄征きて六十年や落葉降る  
星の降る夜の干大根白きかな  
霜条 星名 星光  
茎の石のせて終りの清め塩  
柿むくもわれの夜業や妻臥しぬ  
金婚や孫より受けし菊香る  
上町 高橋 願似

少々の酒たしなみて菊贈  
残菊に射せる日差しを浴びにけり  
冬日和声高く行く竿売り屋  
練馬区 須藤 遊人  
白菜のきり、と巻きて秋深む  
雪大根かじれば梨のごと甘し  
豊作の太き大根干されけり  
小白倉 江口みゆき  
秋深む隣りも前も冬仕度  
玄関に草花活けて秋惜しむ  
田中町 石澤 澄代  
米山に雪三度来て漬業採る  
大根も吊るし家々冬仕度  
小白倉 田中 優美  
虫の音や恙なき日々万歩計  
留守を守りこたつに暮れし雨一日  
八王子市 松浦 サク  
小春日の窓辺明るく注連を綯う  
燻りいてどつと燃えたつ落葉かな  
岩瀬 登坂伊智子  
大きさの順に大根引きにけり  
竹箒借りて落葉を掃きにけり  
大倉 中條 石平  
木洩れ日に置物のごと茸かな

木洩れ日に傘てらてらと茸かな  
野口 高橋 波京  
秋の川ほとりの宿に六姉妹  
掃いて又掃いても又の落葉かな  
霜条 蔵品ハツエ  
水の音かすかになりて今朝の霜  
暮れてゆく街の静かに秋灯  
元町 田畑 吉治  
三冬目なりしわが家の石路の花  
干し大根するりと縄を抜けて落つ  
野口 村越 由喜

寸評

正風

・蕎麦会の——「蕎麦を味わう会」の参加者に自ら給仕をしてサーブスにつとめた町長さん。まさに「爽やかに」である。  
・手の窪に——手のひらを手塩皿にするという気取りのなさが、ふる里の素朴な「菊なます」を頂くにふさわしい。

・金婚や——お孫さんから贈られたお祝いの菊の花。その菊の香に、めでたさと喜びがある。

休日救急医

12月14日 石川医院 (津南町上郷宮野原) ☎66-2061  
" 中条病院 (十日町市北原) ☎57-3018  
21日 富田医院 (川西町発電所通西) ☎61-0200  
" 上村病院 (中里村田沢) ☎63-2111  
23日 川西町国保診療所 (川西町高原田) ☎68-2034  
28日 庭野医院 (十日町市寿町4) ☎52-2711  
29日 たかき医院 (十日町市土市第5) ☎58-2361  
30日・31日 山口医院 (十日町市下条中央) ☎55-2003  
1月1日 田中外科医院 (十日町市田中町本通) ☎52-2403  
2日 池田医院 (十日町市本町西1) ☎52-2581  
3日 大熊内科医院 (十日町市山本町1) ☎52-7066  
4日 せき整形外科 (十日町市四日町第2) ☎50-1155  
" 津南病院 (津南町大割野) ☎65-3161

■表紙の写真

白倉しめ縄生産組合の皆さんです。何でもみんなで力を合わせて行うことで、信頼と実績を積み重ねてきました。意欲満々、これからまだまだ伸びていきます。

?町勢要覧クイズです?

「2003 町勢要覧」の内容を中心にクイズを出しています。

<節黒城を最初に築いたといわれる武将は?>

ヒント：全戸配布した町勢要覧をよく読んでください。

おわかりの方は、はがきに「解答」「住所」「氏名」「電話番号」を明記のうえ、〒948-0192 川西町役場総務課文書広報係までご応募ください。

正解の方に(多数の場合抽選で)ステキなプレゼントをいたします。

●締め切り… 12月22日(月)

< 11月号の答え >

「中子遺跡」

今回は、正解者の中から抽選で次の方々に記念品をプレゼントします。(敬称略)

小幡義晴(仁田)、南雲洋(横浜市)

